

生 活

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

信 州 教 育 出 版

光 村 図 書

啓 林 館

日 本 文 教

観点の内容

生活科 目標

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科と各教科等との関連や、実生活（家庭・地域等）との関連を意識した学習活動をそれぞれ取り上げている箇所数 ・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる記述の箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や体験を通して生まれた気付きが相互に関連付けられたり、既存の経験などと組み合わせられたりして、各教科等の学習や実生活の中で生きて働くものとなること。 ・思いや願いを実現する過程において、生活上必要な習慣や技能も活用されるものとして身に付けること。
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえば）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）をそれぞれ具体的に例示している箇所数 ・言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動をそれぞれ具体的に例示している箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや願いを実現する過程において、児童が自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たとえばなどの学習活動により、分析的に考えること。また、試す、見通す、工夫するなどの学習活動により、創造的に考えること。 ・児童が、気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりすること。
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿を例示している図や写真の数 ・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題（やってみたいこと）につながったりしている様子を例示している箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとすることを繰り返し、それが安定的に行われるような態度を養うことを目指す。 ・思いや願いを実現する過程において、自分自身の成長に気付くことや、活動の楽しさや満足感、成就感などの手応えを感じることができるよう留意する。

調査方法

種目名【 生活 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p>A</p> <p>知識及び技能</p>	<p>・気付きが各教科等の学習や実生活の中で生きて働くものとなるように、生活科と「各教科等との関連」や、「実生活（家庭・地域等）」との関連を意識した発展的な学習活動を取り上げている箇所数について調査を行った。</p> <p>例) 各教科等との関連記述「虫の体に関する記述（理科）」 実生活（家庭・地域）との関連記述「みんなのまちに伝わる遊びはあるかな」</p> <p>・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる記述の箇所数について調査を行った。</p> <p>例) 「何に気をつければいいのか？（ルール・マナー等についての指導）」 「生き物図鑑（動物の世話の仕方に関する指導）」</p>
<p>B</p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<p>・分析的に考える活動（見付ける、比べる、たどる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）をそれぞれ具体的に例示している箇所数について調査を行った。</p> <p>例) 「どこが違うかな」→分析的に考える活動（比べる） 「輪ゴムを変えたらどうなるかな」→創造的に考える（試す）</p> <p>・児童が気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動をそれぞれ具体的に例示している箇所数について調査を行った。</p> <p>例) 探検カードの記載例→言葉、絵 発表の例→動作化、その他（歌・踊り）</p>
<p>C</p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<p>・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿を例示している図や写真の数について調査を行った。</p> <p>例) 「どんな生きものをしてしているかな？（活動を引き出す発問）」⇒見る・探す・触れる</p> <p>・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題（やってみたいこと）につながったりする様子を例示している箇所数について調査を行った。</p> <p>例) 「もっとほかの場所も調べたいです」→次の課題（やってみたいこと） 例) 「トマトのお世話をしっかりできるようになりました」→自分の成長の自覚</p>

調査結果 生活

		観点A		観点B			観点C		
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力や人間性等		
研究調査事項	発行社	りた域運生	る関活学	にす動る付分	てそそ	真童にるるち	てりた	り自	
		上習等や活	関する上習	例る(一)け析	いれぞ他、	やの直るる、	いしいこ	分返	
		げ習)と実生	する必要の展	示(一)や創、	るれに、	図の姿接遊ぶ	る筒の例	る活	
		て活動との関	導な習慣に	してをそ、	筒所数	のを働きか	数示して	動を	
		いるをそ、	記述して	いるそれ、	例示し	けて、	てい	を通	
		筒所数	い	筒所数	を	いる対	る	して	
		取	に	的	を	象	し	み	
東京書籍	上		○				○	○	
	下			○			○	○	
大日本図書	上	○		○		○			
	下	○	○		○				
学校図書	上		○	○		○			
	下		○	○		○			
教育出版	上	○		○	○				
	下			○	○			○	
信州教育出版	上	○			○	○			
	下	○		○		○			
光村図書	上	○			○			○	
	下		○	○				○	
啓林館	上			○	○			○	
	下	○		○	○			○	
日本文教	上	○				○	○	○	
	下		○			○	○	○	

種目名 生活	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面右端に「国語：見つけたことを話そう」、「算数：どちらが長いかな」など、単元の学習と関連する他教科等の学習内容が具体的に示されている。 ・単元末には、単元で育成された資質・能力を実生活で活用したり、中学年以降の教科に生かしたりする「やってみよう」や「つながるひろがる」が設けられている。 ・巻末に生活科の学習で身に付く習慣や技能をまとめた「かつどうべんりてちょう」が添付され、各単元の最初の紙面には、関連ページ番号が記載されている。 ・安心・安全、習慣や技能に関して、具体的な学習活動に即して身に付けられるよう紙面右端に「やくそく」を掲載し、「なににきをつければいいかな」と問いかけ、児童自らが考えながら習得するよう工夫されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・下巻末の「かつどうべんりてちょう」には、「やってみよう考えよう」として分析的に考える活動や、「やってみようくふうしよう」として創造的に考える活動を示す具体例が記載されている。 ・単元に「学びをふかめる」コーナーがあり、児童の気づきがつながる様子を矢印で示されている。 ・上巻末には実物大の図鑑が掲載されており、必要に応じて教科書から取り外しそのまま屋外に持ち出すことができる。図鑑を使って観察することで、見付ける、比べる、たとえるなどの学習活動を促すよう工夫されている。 ・上巻では、ICT機器を活用した発表や学習カードの例示が多く見られる。下巻では、学習カードの文章表現に「したこと」だけでなく、自分と関わる他者への思いや願い、考えの記述が見られる。また、新聞や遊び、ポスターなどの多様な表現活動の具体例が示されている。 ・気付いたことを整理し、表現する方法を例示した「まとめようつたえよう」が下巻末に設けられている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面左上に活動内容を表した「小単元名」と活動のめあてを表した「本文」を掲載し、イラストで「学びのプロセス」を例示され、児童が活動の見通しをもてるよう工夫されている。 ・大判の紙面で、一つ一つの写真やイラストが大きく、児童が活動しながらでも見やすい工夫がなされている。 ・上下巻を通して、多様な方法でこれまでの学習活動を可視化し、児童同士が学びを振り返る活動が例示されている。 ・単元の終わりには「やってみよう」や「できるようになったよ」など、児童が学んだことを実生活で発展させて実践することが示されている。 ・写真やイラストに付いている吹き出しが多く、この学習で「何ができるようになるか」を児童がイメージすることができ、それに基づいて成長を自覚することができるよう工夫されている。 	

種目名 生活	発行者名	大日本図書株式会社
観点	選定のための参考	
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の活動や体験が、他教科の学習へ広がり発展するとともに、他教科の学習成果が生活科の活動に生かされるよう相互の関連について特に合科的・関連的な指導が効果的と思われる場面に、関連する教科名等が示されている。 紙面右端に「せいかつことば」「きらきらことば」を設け、児童の語彙力の向上を図っている。 学校のことを家庭で報告する場面を適宜設けており、家庭との連携を図っている。 活動の中で必要に応じて参考にできる資料「がくしゅうどうぐばこ」を上下巻末に掲載しており、中学年以降の他教科にもつながっている。特に関連が深い内容には、単元内の紙面にリンクマークが示されている。 具体的な活動や体験を通して、必要な挨拶、人との接し方、学校や地域、家庭でできる生活習慣、道具や手を使う生活技能等に関する記述がある。 	
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の活動写真と並行したイラストが取り入れられている。イラストの吹き出しが豊富であり、友だちと対話しながら学習している様子がよく分かり、その中で「見付ける」「比べること」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」児童の様子が例示されている。 イラストの吹き出しに「〇〇みたいだね」等の話形が示され、それによって分析的・創造的な思考を促し、子どもの言葉を引き出す工夫がある。 おもちゃ作りの活動では、自ずと子どもの試行錯誤が生まれるような環境構成や、新たな遊びを創り出す活動の流れが例示されている。 下巻では、地図やクイズ、ICT機器を活用した発表、ポスター、招待状やお礼の手紙などの具体例が豊富に示され、学年に応じた表現活動が例示されている。 下巻の巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、調べ方や伝え方では、多様な方法とその手順を具体的に記載している。 	
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大単元の導入では、2ページにわたるダイナミックな写真を有効に使い、児童の興味・関心を高め、対象に直接働きかける意欲を引き出している。 複数の親しみやすいキャラクターが活動のヒントを示している。その際、「～しよう」と指示するだけでなく、「どうかな？」と問いかけ、子ども自身が考えるよう工夫されている。 単元と単元のつながりでは、活動後の振り返りから、児童の思いや願いをもとに次の活動へとつながる流れを意識して紙面を工夫している。 児童の感性を刺激し、見る、触れる、作るなどの具体的体験を引き出す紙面を工夫している。 振り返りの場面をペアやグループで交流する場面の吹き出しや板書例で示しており、自身の学びの変容を自覚し、自分の生活に生かそうとする子どもの発言が例示されている。 	

種目名 生活	発行者名	学校図書株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科との関連として、対話したり記録したりすることが重視され、巻末資料には表現力としての話す・聞く・書くなどを「学び方図かん」に示し、活動の視点に沿って自己評価できるようになっている。 ・社会科との関連として、上巻で校内図、下巻で校区地図を使い、理科との関連として、土や石、水、かげ、草、木の実、風等の自然の中で遊ぶ活動が取り上げられている。また、総合的な学習の時間との関連として、各大単元が学習テーマをもった課題解決型の学習になっている。 ・活動を通して、公共におけるマナーなど、安全な行動や規則正しい生活ができるように注意マークやイラストが掲載され、それを見ながら児童自身がマナーについて考えるような構成になっている。 ・単元内に学習に関連する植物や昆虫等についての図鑑のページがあり、児童が活動しながら活用できるよう工夫されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターたちが、疑問や思いを対話し、協力しながら学習を進めている場面を例示し、言葉や表情から分析的・創造的に考える活動が促されるよう工夫されている。 ・巻末の「学び方図かん」の「見る」や「考える」のページに「比べる」「たとえる」「見通す」「工夫する」「試す」の項目がそれぞれ具体的に例を挙げて提示してあり、自己評価できるよう工夫されている。 ・例示されている児童の観察カードには、教師のコメントが書き込まれており、児童に意識させたい観点や価値付けたい気付きが分かるよう工夫されている。また、絵から文章へという発達段階に応じた表現が示されている。 ・伝える活動では、カードや新聞、歌や劇、造形など多様な表現方法に出会えるよう、絵や写真を豊富に取り入れ、児童が選択できるように工夫されている。 ・巻末の「学び方図かん」では、「話す」「書く」「発表する」のポイントが示されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭では、キャラクターたちの対話場面が配置され、子ども自身の経験を思い出させ、単元の学習につながるよう工夫されている。 ・振り返りの活動では、特に文章を書く活動に重点が置かれており、児童の文章記述が多く例示されている。また、児童の記述に対する教師のコメントも例示され、成長の自覚や次の課題へのつながりを促す評価例が示されている。 ・振り返りカードへの記入の際、まずその時の自分の気持ちや伝えたい思いをマークやタイトルで示し、それを基に文章や絵をかいていくように示されている。 ・上巻最終単元には、これまでの成長を振り返る場面が設定されており、下巻最終単元には、自分の変容を自分だけでなく、友達、家庭等から教えてもらう構成となっている。 ・自分の成長とともに、他者との関わりでは常に「ありがとう」という感謝の気持ちを大切にしよう構成されている。 	

種目名 生活	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学びのポケット」では各教科の知識・技能が整理されており、他教科等との学びと関連させて学習できるようになっている。また、これらは、「単元とびら」にインデックスとして関連ページが示されている。 ・紙面右端に「はってん」として理科や社会科へのつながりが具体的に示されている。また、下巻末には、生活科が理科や社会科へつながることがまとめられている。 ・安心・安全面に関して、紙面右端に「やくそく」として注意喚起をし、「手洗い・うがい」マークが随所に示されている。 ・生活上必要な習慣・技能についての記述が紙面右端に「できるかな」等で示されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習で特に発揮すると効果的な6つの力（「きづき」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちょうせんする」「じしんをもつ」）を「サイコロのアイコン」として明示しており、児童の思考を促すよう工夫されている。 ・「ヒント」や「はてなマーク」に、分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）につながる観点がイラストを交えて示されている。 ・「つたえる」活動において、ICT機器の活用やポスター、紙芝居、手紙、作文、カード、動作化など、まとめ方の手段を豊富に示している。また他教科とのつながりを生かした表現活動が意識された構成となっている。 ・思考を整理する学習活動として、付箋の活用やウェビング・Xチャート等の思考ツールや板書が例示されている。 ・資料がクイズになっていたり、「もしも生きもののことばがわかるマイクがあつたら」等が設定されていたりするなど、児童が考えたいくなるよう工夫されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面左上に「小単元名」や「活動の観点」、特に発揮すると効果的な力を示した「サイコロのアイコン」、紙面下に単元のインデックスが示され、学習の見通しをもちやすくなるよう工夫されている。 ・子どもと同じ目線で共に活動するキャラクターと楽しく活動する子どもの姿が掲載されており、「自分はこうしたいな」と思いや願いをもって活動できる工夫がなされている。 ・各単元の振り返り「なにをかんがえたかな」には、体験活動に適した表現活動が例示されている。また、自信や意欲のバロメーターとして、「まんぞくハシゴ」が掲載され、自己評価しやすい工夫がされている。 ・学んだことを家族に話す「つたえたいな」という活動が設定されており、自分の成長や良さについて伝え、認めてもらうようになっている。 ・振り返りの活動では、特に文章を書く活動に重点を置かれており、自分の成長を自覚したり、次の課題（やってみたいこと）につながったりしている例が示されている。 	

種目名 生活	発行者名	一般社団法人信州教育出版社
観点	選定のための参考	
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・縦書きでページが構成され、国語科とのつながりが意識されている。 ・季節の行事を紹介するページでは、国語科や音楽科に関わって、詩や歌が紹介されている。また、家庭科に関わって季節ごとに収穫したものを調理する様子が紹介されている。 ・端午の節句、七夕、お月見、お正月、節分、雛祭りなど、季節の変化と関わりのある地域の文化や人々に関わる活動が多く取り上げられ、その地域ならではの、人、もの、こととの関わりや触れ合い、交流を通して、学んでいく単元展開となっている。 ・季節ごとのページには、観音開きで4ページ分の都市部と田園部の風景が描かれている。身近な地域からめあてや課題を見つけ、思いや願いをもって活動しやすいよう工夫されている。 ・生活上必要な習慣や技能については、全体の中のイラストや吹き出しで紹介されていることが多く、あえて項を挙げたり、巻末に資料として添付したりしていない。 	
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の成長の変化について写真を中心に示している。そのため、その変化や違いに着目し、自分の育てている植物と比較しやすいよう工夫されている。 ・動物との継続的な関わりを取り入れ、飼育活動において創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）が構成されている。 ・分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえば）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）の様子が児童のイラストや写真で示されている。特に、児童の写真については、実際の単元学習において見られた児童の姿が掲載されており、生活科の学習過程をイメージしやすいよう工夫されている。 ・多様な表現活動として、絵・新聞・ICT活用だけでなく、粘土作品や絵画、版画作品などを例示している。 	
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、教科書見開きページいっぱいの単元を象徴する写真や挿絵を掲載している。 ・大型哺乳類（ヤギ）を継続して飼育する活動が例示され、子どもが動物とともに成長し、自分の良さに気づくことができる紙面構成になっている。 ・各単元で、子どもが自分や友だちの生活・成長・地域とのかかわり方などを振り返る場面を設定している。 ・振り返る場面での児童の記述例はあえて示さず、児童一人一人の発想や表現を大切にしている。 ・下巻では、自分の幼いころの成長を支えてくれた家族やまわりの人々との関わりや学校での2年間を通し、その間のまわりの人々の温かなまなざしの中で成長してきた自分を実感できることを大切にしている。 	

種目名 生活	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わる単元では社会科との関連が示されている。また、飼育・栽培活動では、算数科の数や長さの学習内容との関連を意識した活動が例示されている。 ・特設ページである「きせつのおくりもの」には、四季を通じた町の様子の変化や、植物・動物の変化がイラストで示され、理科との関連が図られている。 ・巻末の「ひろがるせいかつかじてん」では、防災・安全や生活上必要な習慣、体験活動や表現活動をイラストで一覧として示している。 ・日常で身に付けてほしい生活習慣を1日の流れに沿って示している。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真に子どもの思いを表した吹き出しが多く、分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）がイメージしやすいよう工夫されている。 ・巻末の「ひろがるせいかつかじてん」には、「見付ける」「工夫する」活動が児童のイラストで一覧として示されている。また、「表す」「伝える」活動として多様な表現活動が児童のイラストで一覧として示されている。 ・活動する児童のヒントとして「どうすれば」コーナーが設置されているが、4つ目のヒントを必ず「ほかにもあるかな。考えてみよう。」とし、子ども自らが考えていくよう工夫されている。 ・ポスターやパンフレット、新聞、クイズなど多様な表現活動の具体例が示されている。また、色鉛筆などを効果的に活用し、まとめ方のヒントになるような工夫を取り入れている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・全単元を「ホップ・ステップ・ジャンプ」の3段階で構成し、学習のスタートからゴールまでを見通せるよう工夫されている。また、「ホップ」には「見通し」コーナーを設けられ、児童が学習過程を確認でき、発問によって思いや願いを引き出すよう工夫されている。 ・振り返りの場面のキャラクターが、活動の振り返りのコメントをしているが、巻末だけはそのキャラクターではなく、キャラクターを手に持った子どものイラストがコメントをしている。一緒に学んできたキャラクターから卒業し、自らの成長を自覚して進級することができるよう工夫されている。 ・巻末の「ジャンプシール」は、児童が自分の活動を振り返り、書き込んで貼れるようになっており、シールを貼る高さで自己評価することができる。また、記録したことをさらに巻末にある「ジャンプ大しゅうごう」に貼り直すことで、1年間の学びを振り返ることになる。 ・単元末には「もっとやってみたい」コーナーを設け、単元終了後も活動を続けるヒントを豊富に示している。 	

種目名 生活	発行者名	株式会社新興出版社啓林館
観点	選定のための参考	
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携が重要な内容に、「保護者の皆様へ」として保護者に向けたメッセージが示されている。 ・国語科（話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと）、算数科（かず、時間）、音楽科（歌）、図画工作科（製作、造形）、体育科（ゲーム、ダンス）、道徳科（生命の尊さ、伝統文化）などの各教科で育成を目指す資質・能力との関連を考慮した内容が示されている。 ・上巻巻頭のスタートブック同様、下巻巻末にはステップブックを掲載し、中学年以降の教科へのつながりを児童が意識できるよう工夫されている。 ・あいさつやマナー、安全上の注意などの基本的な生活習慣や知識・技能は「こんなときどうしよう」で考えながら学習できるようになっている。 ・上下巻末の「がくしゅうずかん」では、調べ方・記録のしかた・話し合いの工夫・まとめ方や、道具の使い方・安全上の注意などが示されている。 	
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の気付きを共有化・可視化するための板書、付箋、ICTを活用する学習活動が例示されている。 ・多様な活動をする児童の写真と言葉に合わせて分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえば）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）の視点が示されている。 ・「こんなときどうしよう！」のコーナーが必要に応じて掲載され、言葉はなく絵だけで表すことによって、児童自らが解決策を思考できる構成である。 ・巻末の「がくしゅうずかん」の「友だちと考えをふかめよう」では、話し合いの方法やヒントが示され、児童の話し合い活動が充実するよう工夫されている。 ・「ぐんぐん」の活動では、「絵」「写真」「動作化」「絵本」「新聞」「巻物」などの多様な表現活動を例示している。 ・相手のことを想像して、伝えたいことや伝え方を自己決定できるように、巻末の「がくしゅうずかん」にまとめ方や伝え方が示されている。 	
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面の左上に「小単元名」として具体的な学習活動が示されるとともに、紙面右下に「めぐり言葉」として活動の中で生まれた気付きや、次の学習への思いや願いが示され、活動が単発にならず思いや願いが次の活動につながるよう構成されている。 ・単元導入の「わくわくの扉」には、活動を引き出す発問が例示されたり、「わくわくボックス」に実物大図鑑や書き込みができる工夫があったりして、子どもの意欲を引き出す工夫がされている。 ・振り返りでは、「ひろがるきもち」として、自分の成長を家族に伝えることを通して自覚したり、次の課題（やってみたいこと）を基に思いや願いをもったりしている児童の姿が例示されている。 ・学習を通して気付いたこと、わかったことを主体的に確かめることができるように、「できるかなできたかな？」に活動を振り返る視点の例を示し、成長を実感できるよう工夫されている。 	

種目名 生活	発行者名	日本文教出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード、作文、俳句、感想文などの作品例が紹介されており、表記全体を通して国語との関連が図られている。 ・算数との関連では、取れた種の数やゲームの点数を計算する場面などが掲載されている。 ・理科との関連として、上巻では数ページを山おりすることで、植物の成長過程が一覧できる立体のしかけがある。 ・安全に過ごすために学習活動の中で注意することを紙面右上に「ちゅうい」として示している。また、キャラクターが繰り返し登場し、語り掛けるように注意を促している。 ・上下巻末の「ちえとわざのたからばこ」において、生活上必要な習慣や技能に関して、児童のイラストを用いて記載されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面を山おりにしてつなげることで、種から実になるまでの過程を見比べやすくなるよう工夫されている。 ・単元の初めの板書例と児童の吹き出しの言葉が、学習の見通しを持って、「見つける」「比べる」「たとえる」などの多様な学習活動につながる例示が示されている。 ・写真やイラストだけでなく、学習カードの文章にも「試す」、「工夫する」、「見通す」に関する記述が例示されている。 ・上下巻末の「ちえとわざのたからばこ」において、「考えるわざ」や「まとめ方はびょうのしかた」の具体例がイラスト付きで紹介されている。 ・板書を中心に、多様な表現方法の例示や話し合いの場面などを具体的に示し、ウェビングやYチャート等の思考ツールも例示されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・小單元ごとに紙面左上に「タイトル」「子どものことば」、紙面左下に「学習のめあて」が示され、見通しがもちやすいよう工夫されている。 ・単元の導入では、子どもたちがこれまでの経験を交流し、自ら課題を見つけたりめあてを作ったりする場面が設定されている。また、活動のヒントになるような言葉が示されており、思いや願いを引き出すよう工夫されている。 ・紙面右下に「まなびのまど」を配置し、「ふりかえるつなげる」が設定されている。子どもが学びの中で自信をもって取り組んだことや生活を豊かにした経験を今後も繰り返したり継続したりできるような工夫がされている。 ・体験活動を振り返り、交流する場面を板書例で示している。板書には、自身の学びの変容を自覚し、自分の生活に生かそうとする子どもの姿が例示されており、互いを認め合い、肯定的に自分の良さに気づいていく姿が描かれている。 	

音 樂

教 育 出 版

教 育 藝 術 社

観点の内容

音楽科 目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階（低＝リズム、中＝旋律、高＝音の重なりや和声）に適した学習活動が設定されている箇所数 ・表現の技能を高めるための記述の箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付き、理解するとともに、音楽表現を楽しむために、または表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けさせるように留意する。 ・それぞれの学年における「技能」の習得に関する学習が質的に高まっていること。
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数 ・リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるように留意する。 ・児童の発達段階や学習の系統性等を踏まえて、低学年では曲や演奏の楽しさ、中学年及び高学年では曲や演奏のよさなどとし、曲や演奏のよさなどを見いだしていくことが質的に高まっていること。
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな演奏形態による教材数 ・聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実にかかわる教材・学習活動が設定されている箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に応じて、低学年では「楽しく」、中学年では「進んで」、高学年では「主体的に」、音楽への関わりが質的に高まっていること。 ・音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、友達と音楽表現をしたり音楽を味わって聴いたりする楽しさや、様々な音楽に親しむことができるよう留意する。

調査方法

種目名【 音楽 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階（低=リズム、中=旋律、高=音の重なりや和声）に適した学習活動が設定されている箇所数について調査を行った。 ・表現の技能を高めるための記述の箇所数について調査を行った。 例）曲想や活動のイメージ図・イメージ写真や挿絵の箇所
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数について調査を行った。 例）音楽用語や記号についての説明や資料の箇所 ・リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数について調査を行った。
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな演奏形態による教材数について調査を行った。 例）声楽・合唱・オーケストラ・和楽器など ・聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実にかかわる教材・学習活動が設定されている箇所数について調査を行った。 例）「聴いて感じたことを話し合しましょう」等の記述がある教材の箇所

調査結果 音楽

		観点A		観点B		観点C					
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等					
研究調査事項	発行人	活動が設定されている箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数	要素の働きが見られる箇所数	リズム、強弱、形式など音楽を形づくっている箇所数	いろいろな演奏形態による箇所数	習熟活動が設定されている箇所数	充実するなどの見聞が設定されている箇所数	で伝えたり意見を交換した方法	取ったことや感じ
		教育出版	1年生		○				○		○
	2年生				○		○			○	
	3年生		○		○					○	
	4年生			○	○					○	
	5年生			○	○					○	
	6年生		○		○		○				
教育芸術	1年生	○			○					○	
	2年生	○	○	○							
	3年生	○		○			○				
	4年生	○	○				○				
	5年生	○	○				○				
	6年生	○		○						○	

種目名 音楽	発行者名	教育出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「にっぽんのうた」では、イメージ写真が大きく取り上げられている。 ・共通教材では、全学年縦書きの歌詞とともに写真や絵が示され、綴じ込みの大きな写真が使用されている楽曲もある。また、イメージしたことを言葉で伝え合う活動が設定できるとともに、感じたことを表現に生かしていけるよう工夫されている。 ・手合わせや手話など、身ぶりで表しながら歌唱表現を行う活動が多数設定されている。6年間の発達段階に応じて設定している同じ曲がある。 ・「おもいだそう」と音楽記号などの前出ページの記載がある。 ・1、2年生の表現活動の教材では、音符の中に階名が示されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽のもと」の表記で各教材ページに音楽を形づくっている要素（リズム・音色・旋律など）が記載されている。また、2年生から巻末の「『音楽のもと』まとめ」に音符や休符について視覚的にまとめて記載されている。学年が上がるごとに既習記号を増やして充実させている。 ・3、5年生では透明シートの工夫があり、音符や楽器についてのヒントが示されている。 ・「音楽のもと」についての説明に加え、記入するスペースや3年生からさらに「メモ欄」が設定される等、工夫がある。 ・もくじ右下に「まなびリンク」があり、楽曲や教材に関する情報をウェブサイトで見ることができる。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたり意見交換したりする活動が、低学年から多数取り入れられている。曲を聴いて感じ取ったことを伝え合う活動が多い。 ・鑑賞教材では、2年生で日本の太鼓の音を楽しみ、4年生でここの魅力について、4、5年生では日本の民謡、6年生では日本の楽器（こと・尺八）が取り上げられ、日本の楽器の音色を味わう活動が設定されている。また全学年を通して、諸外国で親しまれている音楽が多数掲載されている。 ・まなびナビのマークが全学年設定されており、各題材の学び方について示されている。 ・全学年の巻末に日本の歌や楽器について、綴じ込みで掲載されている。 	

種目名 音楽	発行者名	株式会社 教育芸術社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では拍を合わせて体を動かす活動、中学年では階名唱や旋律の特徴を感じ取る活動、高学年では音の重なりや和声の響きを味わう活動が多数設定されている。 ・発達段階に適した学習活動について、書き込み式のワークシートが設定されている。 ・1年生から3年生当初の表現活動の教材では、音符の中に階名が示されている。 ・全学年「ふりかえりのページ」が巻末に設定されており、学習した事柄を、要素ごとにわかりやすくまとめている。また、その学習をどのページで学習したのかも記載されている。 ・曲や演奏技術などを二次元コードを読み取るとウェブサイト調べられる。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・音符の書き方が丁寧に記載され、書く練習ができるスペースがある。 ・3年生から、巻末にいろいろな音符・休符・記号があり、習う学年の区別を示されている。 ・説明箇所を強調し、簡潔に説明されている。 ・各教材の右下に音楽を形づくっている要素（リズム・音色・旋律など）が記載されている。 ・音の上がり下がりや、音符の長さを図に表すことで、視覚的に曲の流れを感じられるよう工夫されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏の形の資料が巻末に図式化されている。 ・鑑賞教材では、3年生でお囃子、4年生で民謡や郷土芸能の聴き比べや、ことや三味線・三線の音色を感じ取る活動、5年生で再びことに合わせて尺八、6年生で雅楽や日本の古典芸能の歴史を学ぶ活動が設定されている。 ・思いを表現につなげるための話合い活動が設定されている。 ・音楽記号の帽子をかぶったキャラクターによるアドバイスやヒントが示され、楽器のキャラクターによる発展的な学習のアドバイスも適宜設定されている。また、少年少女のイラストの吹き出しコメントで考え方や演奏方法のヒントが示されている。 	

図画工作

開 隆 堂

日 本 文 教

観点の内容

図画工作科 目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所数 ・材料や用具の取扱い、技法を紹介した箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える形や色などの造形的な視点について児童が自らの感覚や行為を通して理解できるように留意する。 ・材料や用具の特徴を生かしながら、材料を用いたり用具を使ったりし、自分の思いを基に表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるよう留意する。
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている箇所数 ・感じたこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなど、言語活動の充実に関わる学習活動が設定されている箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、自分にとって新しいものやことをつくりだすように発想や構想をし、作品をつくったり見たりするときに、よさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深め、自分なりに対象や事象を味わうとともに、児童が自分なりに新しい見方や感じ方をつくりだせるように留意する。
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・総題材数 ・生活や社会の中の形や色などに関する箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・感性を働かせながら作品などをつくったり見たりすることそのものが、児童によって喜びであり、楽しみであることに留意する。 ・一人一人の児童が、形や色などに能動的に関わり、夢や願いをもち、心楽しく豊かな生活を自らつくりだせるよう留意する。

調査方法

種目名【 図画工作 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;">A</p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所については、図示や説明を加えたり、比較したりするなど、明確な意識付けが図られていたり、それらについて題材の中で触れているものについて調査を行った。 例) 形の柔らかさ、色の冷たさ、色の組み合わせによる優しい感じ、面と面の重なりから生まれる前後の感じ、色の明るさなどについての記載。 ・材料や用具の取扱い、技法を紹介した箇所については、1種類の材料や用具技法の手順について示されているものについて調査を行った。題材の中で簡単に触れているものも含む。 例) 各学年で取り扱う材料や用具の取扱い方を説明したり、技法を紹介したりしている。
<p style="text-align: center;">B</p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている場面において発言（吹き出し）とともに掲載されている箇所について調査を行った。 ・感じたことや考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったり、言葉で整理したりするなど、言語活動の充実に関わる学習活動が明確に設定されている箇所について調査を行った。
<p style="text-align: center;">C</p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総題材数については、各発行者が題材名としてあげているものについて調査を行った。 ・生活や社会の中の形や色などに関する箇所については、家庭、地域、社会で出会う形や色、作品、造形、美術などについて示されているものについて調査を行った。 例) 食器、家具、衣服、用具、パッケージ、ポスター、伝統的な工芸品、建物など、児童を取り巻く生活の中にある様々な造形のこと

調査結果 図画工作

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	るきの形や色、組み合わせ、色 箇所の明るさ、動き、奥行きを捉え	法材料や用具の取扱い、技 を紹介した箇所数	を量表現の活動において、構 想的に発想や構想	所活動の整理など、考えたこと が設定されるなど、言語習 熟の充実に関する学	総 題 材 数	な生活や社会の中の形や色 などに関する箇所数
	開隆堂	1・2年生 上	○				○
1・2年生 下			○			○	○
3・4年生 上				○		○	○
3・4年生 下		○	○		○		
5・6年生 上			○	○	○		
5・6年生 下			○	○	○	○	
日本文教	1・2年生 上		○	○	○		
	1・2年生 下	○		○	○		
	3・4年生 上	○	○			○	
	3・4年生 下			○		○	○
	5・6年生 上	○				○	○
	5・6年生 下	○		○			○

種目名 図画工作	発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材の「造形的な見方や考え方」が明確になるように「めあて」と「ふりかえり」が示されている。 ・各学年の巻末に「造形の引き出し」を設け、学年に応じた用具・材料の知識や使い方について詳しく示している。さらに、「造形的な見方や考え方」「鑑賞の方法」などについても取り上げている。 ・各題材のページにおいても、材料や用具の扱いについて触れるとともに、片付けや安全について囲みを設け、写真やイラストで具体的に示している。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に「ひらめきコーナー」や「形や色でショートチャレンジ」のページを設け、身近な材料や短時間で取り組める表現の題材を紹介している。 ・共同で行う活動を多く提示し、自然な流れで話し合いが行えるよう工夫されている。 ・鑑賞の題材では、各学年連続した4ページで扱い、様々な話し合いの場면을掲載するとともに、美術館を活用した鑑賞活動も示している。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・育てたい資質・能力を軸に一年間の題材を系統的に配列した目次が、各学年の巻頭に示されている。 ・「みんなのギャラリー」のページを中心に、伝統工芸や地域の行事などについて多く取り上げている。 ・各題材のページに、「あわせて学ぼう」の欄を設け、他教科との関連が示されている。 	

種目名 図画工作	発行者名	日本文教出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「題材名」や「活動へと誘うリード文」、「めあて」が、分かりやすい言葉で示されており、児童が学習のめあてをもって活動に取り組めるよう工夫されている。 ・各題材のページにキャラクターのコメントが掲載されており、児童が「造形的な見方や考え方」について気づくことができるよう工夫されている。 ・各学年の巻末に「使ってみよう材料と用具」を設け、材料や用具の基本的な扱い方について順を追って丁寧に示されており、必要に応じて活用しやすくなっている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びについては、掲載している題材数が多いだけでなく、発達段階を考慮しながら、材料や場所に繰り返し関わられるように系統的に配列されている。 ・児童が学習のイメージを持ったり、発想のヒントとしたりできるような、活動の写真や作品、コメントを多く掲載している。 ・鑑賞だけでなく表現の題材においても、見合ったり、話し合ったりする活動を多く取り入れている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの題材の中で、複数の材料や活動場所が示されており、児童の実態や環境に合わせて活動が設定できるようになっている。 ・「ひらめきポケット」「図画工作のつながり ひろがり」のページで、身近にある色や形、伝統工芸や美術作品に関心が持てるように工夫されている。 ・作品などを家庭で使ったり、保護者と一緒に見て楽しんだりする様子を掲載し、図画工作科の学びを生活へ結びつける工夫がされている。 	

家 庭

東 京 書 籍

開 隆 堂

観点の内容

家庭科 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の生活についての基礎的・基本的な理解に関わる学習活動の設定 ・調理や製作などの技能に関する内容を取り上げている箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の生活に必要な役割や働きに関する基礎的・基本的な理解について、調査や話し合い活動を取り入れ、児童が主体的に考えられるよう留意する。 ・「調理の基礎」「生活を豊かにするための布を用いた物の製作」の技能の定着を図るためには、必要な材料、用具、手順、時間等の見通しをもち、目的に応じた安全な取り扱いについて理解できるよう留意する。
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で活用するための教材や学習活動の設定 ・問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族・家庭生活についての課題と実践」において、衣食住の生活や消費生活・環境で学習した内容との関連を図り課題を設定し、実践的な活動を家庭で行うことができるよう留意する。 ・問題解決的な学習においては、解決方法を考えたり、計画を立てて評価・改善したりする際、他者との意見交換などを通して、多角的に検討できるよう留意する。
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて考え、生活をよりよくしようと工夫する学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導に関する内容や、道徳の内容と関連をもたせた指導が設定されている教材の数 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて問題を見だし、その解決方法について話し合うことを通して、生活をよりよくするためにどのように工夫できるか考えることができるよう留意する。 ・各教科や道徳等の指導内容との関連を図るとともに、中学校家庭分野における学習を見据え、児童の日常生活とのつながりを重視し、家庭や地域における実践に結びつけることができるよう留意する。

調査方法

種目名【 家庭 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;">A</p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の生活の「食事の役割」「栄養を考えた食事」「衣服の着用と手入れ」「快適な住まい方」に関する基礎的・基本的な知識の理解に関わる教材の数について調査を行った。 例) 栄養素のはたらき、用具の名称など ・「調理の基礎」「生活を豊かにするための布を用いた物の製作」の技能の定着を図る内容等について調査を行った。 例) 青菜のゆで方、手縫いの仕方など
<p style="text-align: center;">B</p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族・家庭生活についての課題と実践」において、衣食住の生活や消費生活・環境で学習した内容との関連を図り、課題を設定し、実践的な学習活動が設定されている教材の数について調査を行った。 例) 家庭で実践しよう、深めようなどの表記や、実践を促す教材数 ・児童が解決方法を考えたり、計画を立てて評価・改善したりする際、他者の意見を取り入れたり、計画どおりにできたかを振り返ったり改善方法を考えたりできるよう、書き込み部分の数や話し合い活動を具体的に設定した数について調査を行った。 例) 話し合おう、考えよう、振り返ろうなどの表記や、書き込める箇所の数
<p style="text-align: center;">C</p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについての問題を見いだしたり、生活をよりよくしようと工夫したりする学習活動が設定されている教材の数について調査を行った。 例) 家族と関わる際の課題や、実践の工夫が促されている箇所、 ・各教科や中学校の技術・家庭科(家庭分野)と関連をもたせている箇所、道徳の内容と関連づけて指導できる箇所の数について調査を行った。 例) 他教科や中学校で学ぶ内容、道徳の内容項目と関連がある箇所(データや解説、注釈も含む)の数

種目名 家庭	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミシンの各部の名称や、扱い方を大きく掲載している。 ・ 調理や製作における必要な技能を、巻末に10ページにわたって大きく取り上げて掲載し、いつも確かめられるようにしている。 ・ 作業をしている手の実物大写真があり、自分の手を重ねて持ち方等を確認できる。 ・ 切った食材の実物大写真が掲載されているので、調理実習で食材を切る際に大きさをイメージしやすい。 ・ 巻末の家庭科に関する用語が50音順に掲載され、調べやすい。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決的思考力に配慮し、すべての題材が、『課題発見、課題解決・実践活動、評価・改善』の3ステップで展開されている。児童にとって、見通しがもちやすく、教科書もすっきりして見やすい。 ・ 学びを深めるために、『考えよう』『話し合おう』『調べよう』『やってみよう』『深めよう』の活動が設定されており、特に『話し合おう』から始まる単元が多く、児童の主体的な学びや対話的な学びにつながりやすい。また、『深めよう』では、学んだことを総合的に活用して実践したり伝えたりできるように工夫されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生活を変えるチャンス!」等、実生活に結び付けた実践の場を多く設定し、児童自らが生活の中から課題を見つけ、学んだ知識・技能や思考力・判断力・表現力を活用し、よりよい生活を目指して課題解決できる内容構成になっている。 ・ 日本の伝統や郷土・地域に関する記述が丁寧で、「プロに聞く」では、様々な職業人の話を取り上げることで、児童の仕事や生活への興味を高め、キャリア教育につながる工夫がなされている。 ・ 他教科の学習内容や中学校技術・家庭 家庭分野との関連をわかりやすいアイコンで示し、他教科の学習内容と生活を家庭科の中で結び付け、知識・技能がより確かな力として活用できるように配慮している。 	

種目名 家庭	発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活と住生活、消費と環境の単元等を分けることにより、細分化された単元を一つひとつ丁寧に学ぶことができる。 ・二次元コードによる動画コンテンツが豊富に準備されており、作業手順を動画で見ることができるので、授業や家庭学習で活用できる。 ・各ページに一口メモとして語句の説明やワンポイントアドバイス、関連の情報が豊富に取り上げられている。 ・生活の中のプログラミングについて、身近な電化製品を例に取り上げて、生活とプログラミングとの関わりを考えられるようにしている。 ・教科書の裏表紙に切り方の一覧表があり、実習中にいつでも確認することができる。 ・応用調理例や応用作品例の掲載が豊富であり、発展的な学習や家庭での実践の際に活用することができる。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに、学んだことをどのように生活に生かしたいか書く欄があり、それが学習指導要領「家族、家庭生活についての課題と実践」につながっている。 ・単元のはじめに学習のめあてがまとめられていて、課題意識をしっかりと持てるように工夫されており、達成できたかどうかをチェックして確認できるようになっている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭で実践しよう チャレンジコーナー」「レッツ トライ 生活の課題と実践」において、生活の中から課題を見つけ、計画・実践・振り返り・評価・改善を繰り返しながら、家庭や地域でのより良い生活を目指した実践的活動ができるよう工夫されており、学習指導要領で新設された家庭生活についての「課題と実践」に対応している。 ・他教科や道徳の内容との関連だけでなく、家庭科の他の学習内容との関係についてもアイコンで示し、繰り返し確認しながら実際の生活場面で活かせるように工夫されている。 	

保 健

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

文 教 社

光 文 書 院

学研教育みらい

観点の内容

体育科 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の健康」及び「けがの防止」において、「技能」の内容を取り扱っている箇所数 ・運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」において、運動に関する内容を取り扱っている箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育や保健の見方・考え方を働かせることを通して、「各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連している」ことを実感できるようにし、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための知識及び技能を習得させることに留意する。
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数 ・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する課題に対応して、自己の健康を保持増進するための的確に思考し、判断するとともに、それらを表現することができるような資質・能力の育成を目指すことに留意する。 ・健康に関する課題を解決するなどの学習活動を取り入れ、知識を身に付ける指導に偏ることなく、自ら考えたり、判断したりしながら実践的に理解できるように留意する。
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問の箇所数 ・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康の大切さを認識し、健康の保持増進や回復等に主体的に取り組み、健康で豊かな生活を営む態度が身に付くように留意する。 ・現在及び将来にわたって健康で活力に満ちた楽しく明るい生活を営む態度が身に付くように留意する。

調査方法

種目名【 保健 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の健康」及び「けがの防止」において、「技能」の内容を取り扱っている箇所数について調査を行った。 例) ・問題やまとめ、吹き出しなどで、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法など不安や悩みを抱えたときの対処法について記載している箇所 ・問題やまとめ、吹き出しなどで、すり傷、鼻出血、やけどや打撲などの簡単な手当について記載している箇所 ・運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」において、運動に関する内容を取り扱っている箇所数について調査を行った。 例) 「運動は、骨や筋肉を丈夫にする効果があるよ。」「全身を使った運動は病気の予防にとって大切だよ。」など、吹き出しやコラム、専門家の話などで運動と健康の関連について記載している箇所
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数について調査を行った。 例) 「次の事故はなぜ起こったのでしょうか。」「かぜをひきやすい理由を説明しましょう。」など、学習したことを活用したり、日常の生活体験から自分の考えを説明したりする活動が記載されている箇所 ・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数について調査を行った。 例) 「ぬれただっしめんを手をふいて、よごれが付いているかどうか、たしかめてみましょう。」など、問題に設定されているものや実験の写真や図、学校医など専門家の話で実践的理解を促す内容が記載されている箇所
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問の箇所数について調査を行った。 例) 「病気の予防で学習したことを生かして、次のことについて考えてみましょう。」など問題に設定されているものや、「学習のまとめ」コーナー等で学んだことを活用している事例を紹介している箇所 ・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数について調査を行った。 例) 思春期に起こる体の変化など、吹き出しや専門家の話等で自分の体の変化を肯定的に捉えられるような内容が記載されている箇所

調査結果 保健

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	い能の「 箇の止の 所の内」 容にお 取り及 扱って	数容お達生す運 をい「 取り、 扱運病「 つ動気の「 てにの発「 いる予防育健康を 箇す「 所内に発な	あ解いや事身 げ決て思を題近 す健考を材な る康を促に日 る学関す資した常 箇活す料す生活 所動課料のの 数取題を合の り用い	箇い図たに実 所てグ、り、践 数解ラコ、験 説フ、ム、解 したり表、を促 り表、な写取 して真などす ているをや上 る用	箇気協やや自 所付働回己の 数く的復己の よにのの健康 う活たの健康 な動め健康に 事すにの健康 例する主保持 やよ体的増取 問さ的増取 のに、進組	てるな身 いるよ近 箇をな健 所内容康 数を取の を心 取身 りえ 上げ	
		東京書籍	3年生			○	○	○
4年生			○	○			○	
5年生				○		○	○	
6年生			○	○		○		
大日本図書	3年生	○				○		
	4年生	○				○		
	5年生		○			○		
	6年生					○	○	
文教社	3年生		○				○	
	4年生	○	○				○	
	5年生	○				○	○	
	6年生		○			○	○	
光文書院	3年生		○	○			○	
	4年生	○	○			○		
	5年生		○			○	○	
	6年生	○				○	○	
学研教育	3年生	○		○			○	
	4年生	○		○		○		
	5年生	○	○	○				
	6年生	○		○	○			

種目名 保 健	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・マークで他教科、他学年とのつながりがわかるように示されている。 ・「けがの防止」では、けがの内容や手当の仕方を分かりやすく説明していたり、自転車の安全な乗り方を紹介したりしている。また、具体的な日常生活でのけがを想定し、手当を行う実習ができるようになっている。 ・「体の発育・発達」では、健康のために運動を取り入れやすくできるよう、日常生活でできる運動が紹介されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを大切にした学習活動を設定するために、身近な日常生活の体験や事例をテーマにした話し合い活動を多く取り入れられている。特に「けがの防止」では、けがの原因や防止について考える箇所数を多く設定している。 ・「体の成長とわたし」の単元の導入では実物大の写真やグラフを掲載したり、図や挿絵を豊富に取り入れたりして、学習を身近なものとして捉えやすくしている。 ・教科書内に資料を見ながら書き込むことができる欄を設け、言語活動を通して、思考力や判断力、表現力が育成されるように工夫されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元の学習も振り返りに興味や疑問を持たせて、これからの学習につなげる書き方になっている。 ・学習のパターンが決まっていて、「まとめる・生かす」の場所が常に同じ所にきている。穴あき問題で語彙を理解させるだけでなく、記述形式で自分の考えを書くようになっている。また、次時の予告もされている。 ・学習のはじめの初発問が「?学習の課題」となっており、大きな文字で見やすくなっている。子どものつぶやきの掲載があり、導入に入りやすい工夫がされている。 	

種目名 保 健	発行者名	大日本図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入の「わたしたちはどこかな？」という活動を通して、それぞれの子どもの行動について考えることで、けがの防止や心の健康など課題意識を持って学習を行い、学習後の実践力につながるようになっている。 ・「けがの防止」で示されている「安全な環境づくり」の例に、子どもが点検している様子も示されているので、子どもたちが主体的に環境づくりを行っていく姿につながる。 ・「体の発育・発達」では、健康のために日常生活で運動を取り入れやすくできるような運動が紹介されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生の「育ちゆく体とわたし」では、シールを使った操作活動を通して、知識や思考力が高められる工夫がされている。 ・写真や絵、グラフが豊富に掲載されている。中でも「けがの防止」「病気の予防」では、写真やグラフを多く用いて、視覚的に考えたり判断したりしやすいように工夫されている。 ・ミニ知識としてページの欄外に「知っておくためになる内容」を掲載し、実践的理解の習得にいかすことができるように工夫されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の最初に「けんこうは夢をかなえる力になる。」ということからはじまっており、将来の自分を意識することができる内容である。また、各学習の「活用して深めよう」では、記述欄が大きくなり、書くことが苦手な子どもに配慮された工夫がされている。 ・「心の健康」の領域では、不安や悩みを持った子どもの気持ちと解決策の事例が多かった。 ・ガンの記載が教科書の最後に1ページを使って掲載されている。家族がガンになった時の状況を想定した内容でガンに向き合う家族としての関わりが書かれてあった。 	

種目名 保 健	発行者名	株式会社 文教社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「けがの防止」では、発展教材として「自助・共助・公助」の関係を見開きで示し、人のつながりについても理解できるようになっている。 ・「熱中症」に関わる資料が、具体的なチェックシートも用いており、分かりやすい内容となっている。 ・単元の最後にある「わたしの〇〇宣言」では、ほとんどの単元で運動との関わりに触れる例が示されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・二人の子どもが会話をしながら学習を進めていくことで、児童が親しみをもって考えることができるように工夫されている。 ・「病気の予防」では、単元の最初にイメージマップを作成することで、様々な病気や予防方法との関係が視覚的に捉えることができ、思考力や表現力の支援となる手立てとなっている。 ・「体の発育と発達」では、年齢と新体力テストの記録の関係を表したグラフや生活習慣と新体力テストの合計の関係を表したグラフを掲載している。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な所は、色で囲み、さらに太字で強調されているため、注目しやすい工夫がされている。 ・6年生の領域においては、いろいろな専門の方の吹き出しが多く掲載されており、生活習慣病や薬物乱用の危険について強調するような工夫がされている。 ・4年生の「思春期の身体の変化」では、心の変化として、思春期における異性との関わりについて兄・姉の経験談や解決策を掲載してわかりやすく理解する工夫がされていた。 	

種目名 保 健	発行者名	株式会社 光文書院
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科、他学年とのつながりがわかるようなマークが示されている。 ・二次元コードを読み込めば、手の洗い方やけがの手当の方法を動画で見られるなど、ホームページから探すのではなく、すぐに使える資料を引き出すことができる。 ・「体の発育・発達」では、健康のために運動を取り入れやすくできるよう、日常生活の中でできる運動が紹介されている。また、各運動と運動量の関係も示されており、運動を行う目安もわかるようになっている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・「けんこうな生活」では、身近な日常生活の体験や事例を題材にした話し合いを多く取り入れられている。 ・写真や図、グラフ、表が豊富に掲載されている。また、豆知識としてページの欄外に「知っておくとためになる内容」を掲載し、児童の実践的理解にいかすことができるように工夫されている。 ・「かがくのとびら」の欄を設け、科学的な資料を掲載することで、学習内容の理解や思考力を深める工夫がされている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「学習のまとめ」では、単元で知ってほしい言葉を記述で答えるようにしている。また、学習の中でこれからは生かしたいことを選択制にするなど支援を要する児童への配慮がされている。 ・3年生の「けんこうな生活」の単元の中にスマートフォンやタブレットの使い方と生活リズムを掲載し、タブレット端末使用の低年齢化を意識し、早期の手立てや今の生活を見直す資料の一助となる。またスクリーンタイムなど具体的な判断基準も記載されている。 ・高学年においてはどの領域においても専門家からのコメントが多く、身近な健康や心身の発育などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている。 	

種目名 保 健	発行者名	株式会社学研教育みらい
観点	選 定 の た め の 参 考	
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「けがの防止」の発展教材では、「Jアラート」にもふれ、警報が出されたときに、どのように行動すればよいかを考えられるようになっている。 ・「関連」というマークでは、運動領域とのつながりも明確に示されている。 ・二次元コードを読み込んだ会社のサイト内では、手軽に行える多くの運動例が紹介されている。 	
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを大切にした学習活動を設定するために、身近な日常生活の体験や事例をテーマにした「つかむ・ふりかえる」という導入があり、話し合い活動が多く取り入れられている。 ・「実習」の欄を設け、日常生活の中であり得る問題について話し合う活動を取り入れ、表現力を高める工夫がされている。 ・「かがくの目」の欄を設け、実験等で確かめることができる資料や写真を多数掲載することで、児童の学習理解を深めたり、科学的な認識を促したりできるように工夫されている。 	
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記述する項目が少なく、資料などを大きく、きれいに掲載しており、見開きで1授業が終わる工夫がされている。 ・6年生の生活習慣病の予防の後に1ページを使い、Q&A方式でがんについて掲載しており、がんの死亡率や発病の原因、治り方などをわかりやすく説明している。 ・5年生の「心の健康」の領域に思春期の時の悩みを掲載し、スクールカウンセラーという専門の立場の方からのアドバイスを受けることにより、安心させる工夫がされている。 	

英 語

東 京 書 籍

開 隆 堂

学 校 図 書

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書

啓 林 館

観点の内容

外国語科 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」「話すこと [やりとり]」「話すこと [発表]」の技能別 (領域別) の活動の箇所数 ・十分に音声に慣れ親しませた上で「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の基礎的なものを身に付けることができるよう留意する。 ・十分に音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について、発達の段階に応じて段階的に「読むこと」「書くこと」を加え、文構造の理解など、言葉の仕組みの理解を促す指導をすることに留意する。
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な課題が設定された言語活動の箇所数 ・言語の使用場面が設定された言語活動の箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な課題等を設定し、目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えを形成したり、推測しながら読んだり語順を意識しながら書いたりして、コミュニケーションを行い、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるよう留意する。
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組むことができるような段階的な言語活動の設定がされた箇所数 ・様々な言語そのものへの理解や言語の背景にある文化についての題材が設定された箇所数 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味を持って取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、自己表現活動の工夫をしたりするなど、様々な手立てを通して児童の主体的に学習に取り組む態度の育成を目指した指導をすることに留意する。 ・英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達段階や興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げることに留意する。

調査方法

種目名【 英語 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」「話すこと [やりとり]」「話すこと [発表]」の技能別（領域別）活動の数について調査を行った。 例) Let's ListenやLet's talk等の技能別（領域別）の活動の数 ・十分に音声に慣れ親しませた上で「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の数について調査を行った。 例) He/Sheを使った人物紹介について十分に音声で聞いたり話したりした後、自分が紹介したい人物について、He/Sheを書き写して人物紹介カードをつくる活動等。
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な課題が設定された言語活動の数について調査を行った。 例) 夢の時間割をつくり、みんなに紹介をする活動等 ・「児童の身近な暮らしに関わる場面」と「特有の表現がよく使われる場面」の言語の使用場面について調査を行った。 例) 家庭での生活、学校での学習や活動、地域の行事、挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内、旅行等の使用場面の種類の数
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心を高められるよう、言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、言語活動における理解の助けとなるような視覚資料等の設定をしたり、他教科等と関連付けたりしている箇所の数について調査を行った。 例) 行きたい国を友だちとやり取りした後、海外旅行のパンフレットを模した紙面を見ながら、行きたい国の有名な食べ物やおすすめの季節を学級に紹介する活動等 ・「多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てる題材」「我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高める題材」「広い視野から国際理解を深め国際協調の精神を養い、かつ日本の文化や価値観、考え方などについての自覚を高める題材」の観点別の題材の数について調査を行った。 例) 日本の学校生活と様々な国の学校生活について、情報を得る活動等

調査結果 英語

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	技能と 知識	読む 活動の 箇所数	具体的 な言語 活動の 箇所数	言語の 使用場 面の箇 所数	主体的 に取る ような 言語活 動の箇 所数	様々な 言語の 背景の 題材が 設ける
		「聞くこと」 「読むこと」 「話すこと」 の活動の箇所数	十分に音声に慣れ親しま る上で読むこと、慣れ親しま る活動の箇所数	課題が設定され	場面が設定さ	取り組むことが	そのものへ
東京書籍	5年生	○	○	○			
	6年生		○	○	○		
開隆堂	5年生				○	○	○
	6年生	○				○	○
学校図書	5年生		○			○	○
	6年生		○	○		○	
三省堂	5年生	○		○	○		
	6年生	○		○	○		
教育出版	5年生		○	○	○		
	6年生			○	○	○	
光村図書	5年生				○	○	○
	6年生	○				○	○
啓林館	5年生	○			○		○
	6年生	○			○		○

種目名 英語	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」について、単元の終末に、「話すこと [やり取り]」から「話すこと [発表]」へ流れのある活動が設定されている。 ・「聞くこと」「話すこと」の活動であるスマールトークが設定されている。 ・6年生では、「聞くこと」「話すこと」の活動の後、1文ずつ「書くこと」の活動が設定してある。単元の終末には、毎時間行った「書くこと」を基にして、まとまりのある内容について「書くこと」の活動が設定されている。 ・文字の音を「聞くこと」、また文字を「読むこと」「書くこと」の活動が全てのページにある。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や小学校の思い出を紹介する際に「巻末コミュニケーションカード」のプロフィールカードやアルバムシートがあり、言語活動の場面設定がより明確になっている。また、それらを成果物として残すことができる。 ・社会科や理科、家庭科など他教科と関連させた具体的な課題（食物連鎖、オリジナルカレーメモ等）を扱う課題解決的な学習が設定されている。 ・児童の日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分のことや自分の考えを表現する活動が毎時間設定されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・5、6年生の2年間を通して学んだ結果、何ができるようになるのかを教科書紙面のイラストと二次元コードの学び方動画を使って明示している。 ・段階的に学習が取り入れられている。（出会う→慣れる→楽しむ→広げる→たしかめる の構成） ・国際理解のページが、必ず見開き1ページであり、様々な国についてテーマごとに紹介されている。 例：5年生において、日本に住んでいる外国の人について紹介があり、より外国の人を身近に感じられる。 ・単元の内容とリンクしたテーマでスマールトークを継続し、それをもとにした発表へと段階的に発展している。 例：自己紹介の単元において、好きなスポーツ、色や果物などについてのスマールトークが設定され、それをもとに自己紹介を発表する活動につながっている。 	

種目名 英語	発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」「話すこと [やり取り]」について、ゲームの要素がある活動が設定されている。 ・6年生では、単元の終末にまとまりのある内容を「書くこと」の活動がある。また、それをもとに「話すこと [発表]」につながる活動がある。 ・巻末に、文字の音を「聞くこと」や文字を「読むこと」「書くこと」の活動がまとめられている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・一問一文で返答するのではなく、ある程度やり取りを継続させることで、自然な会話になるような場面設定がされている。 ・単元の終末にあるLet's Tryでは、自己紹介、誕生日インタビュー、時間割クイズ、宝探し、ヒーローの発表など自分のことや自分の考えを表現する様々な場面が設定されている。 ・具体的な課題設定の中に、既習事項（過去形など）を使って学習ができるような場面設定がされている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に他教科との関連が示されていたり、該当する活動に他教科との関連マークが記されていたりする。 ・いくつかの単元を1つのProjectとしてまとめている学習が5、6年生で年間各2回ある。 例：6年生では、「1日の紹介、行きたい国の紹介、日本の紹介、夏休みの思い出」に関する学習を経て、「世界で活躍する自分を紹介しよう」という題材で習った表現を参考に、段階を踏んで自己紹介をするプロジェクトがある。 ・5年生では話題を日本中心にし、6年生では世界に範囲を広げ、伝統や文化を知る構成となっている。伝統や文化を知ることで、異文化理解、自国の伝統・文化への理解を深め他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養うことができる。 ・児童が興味を持ちそうな題材（オリンピック、世界のお金など）を取り上げ、教材としている。 	

種目名 英語	発行者名	学校図書株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」から、「話すこと [やり取り]」、「読むこと」「書くこと」へステップをふんだ活動の流れが全てのページにある。 ・「聞くこと」について、聞いたことをリピートする指示がある。 ・単元の終わりにお話しを「読むこと」の活動がある。 ・まとまりのある内容を「話すこと [発表]」の活動があり、それを基に「書くこと」の活動につながっている。 ・全ての単元の終わりに、文字の音を「聞くこと」、文字を「読むこと」「書くこと」の活動がある。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現を用いて自分のことを伝える場面設定がある。6年生では、例文をもとに自分のことを伝える場面設定がされており、それを基に、伝えた内容を簡単な英文で書いて表現する構成になっている。 ・それぞれの活動に詳細な場面設定がされている。 ・Project Timeでは、住んでいる地域のよいところや小学校の思い出を発表するといった具体的な課題が設定されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの単元を1つのProject Timeとしてまとめている学習が5・6年生で年間各2回ある。 例：6年生では、「自己紹介、好きな食べ物、日本の祭り、夏休みの思い出、自分の町や地域の紹介、道案内」などで習得した表現を用いて「地域のよさを伝え合う」活動が段階を踏んで設定されている。 ・他教科等と関連する学習が単元ごとにある。 例：社会科で学習する世界の国々を扱った内容を聞く活動 など 	

種目名 英語	発行者名	株式会社三省堂
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」であるチャンツがすべての単元において2種類設定されている。チャンツを通して、音を「聞くこと」から文字を「読むこと」「書くこと」へつながる工夫がある。 ・「聞くこと」の活動が多く、情報を聞き取り絵を選ぶ活動から、話の概要をつかむ活動へと発展している。 ・「聞くこと」から「話すこと [やり取り]」へ、「書くこと」から「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」へつながりのある活動が単元ごとに設定されている。 ・「読むこと」について、推測して読む活動が単元ごとに設定されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面設定の中で、例を参考にして自己表現ができる。 ・単元ごとに、身近で簡単な事柄について自分の考えや気持ちなどをやり取りする場面設定がされている。 ・2つか3つの単元が終わるごとに、具体的な課題が設定された言語活動がある。JUMP1では、一人ひとりが自分のことをクラスの友だちに発表し、さらにJUMP2では、相手意識をもってグループで協力して発表する設定がある。発表の際には、あいづちやリアクション、質問等目の前にいる相手の反応を確かめたり反応を感じたりしながら伝え合いができるように設定されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初にマイゴールを設定することで、その単元で身につけるべき内容を明確にすることができる。また、身につけたい力に向け、学習を進めていくことができる。 ・Hop Step Jumpの3構成となっており、スモールステップを踏んでいる。 ・他教科と関連する学習が、設定されている。 社会…世界の時差、都道府県の特徴 国語…外来語と英語の違い、ローマ字、語順 総合…キャリア教育 	

種目名 英語	発行者名	教育出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」について、当てはまる絵を選ぶ問題が多いが、学習が進むにつれて、概要をとらえる問題に発展している。 ・「書くこと」から「話すこと [やり取り]」や「話すこと [発表]」につながる活動が単元の終末に設定されている。 ・単元の終わりに、文字の音を「聞くこと」、文字を「読むこと」「書くこと」についての活動がある。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の時間割、オリジナルメニュー、旅行案内など具体的な課題を設定されており、自分の思いや考えを整理し、それらを表現する活動がある。 ・児童の日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを整理した上で友だちとやり取りできる設定がされている。やり取りのための基本的な表現が吹き出しで記載されており、それを参考に自然な会話ができるような場面設定がされている。 ・Read&Writeでは、児童の身近な場面について、イラストや写真とともにまとまりのある文章で表現する設定がある。6年生では、単元ごとにそのような設定がされている。 ・巻末にワークシートがついており、できることの紹介や旅行案内の際、言語活動の場面設定がより明確になる。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入段階で視覚教材が用いられているので興味関心を高められる。 ・5年生の後半になるにつれて、活動が増えていき、児童の学習の状況に合わせた構成となっている。 ・Final ActivityとRead&Writeが見開きになっており、段階を踏んだ言語活動がしやすい。 ・児童の興味関心を高めるとともに言語活動がしやすいよう、視覚支援となるシール教材が付録についている。 例：5年生レッスン7「オリジナルメニューをつくろう」では、友だちに好きなトッピングメニューを聞いてシールを貼り、注文されたメニューを完成させる活動がある。 ・学級づくりにつながる活動や他教科での学びが生かせる活動が設定されている。 例：5年生のレッスン5では、道徳科の学習と関連して「できることの木」の活動の中で、自尊感情を高めたり、他者理解につなげたりすることができる。 	

種目名 英語	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きのページに、「聞くこと」「話すこと [やり取り]」「書くこと」の活動が順に設定されている。 ・「聞くこと」について、まとまりのある内容を聞く活動が単元の中に複数ある。 ・単元の終わりに文字の音を「聞くこと」、文字を「読むこと」「書くこと」の活動と歌が掲載されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・時間割や休日の過ごし方、行きたい国、夏休みの思い出、将来の夢など児童の日常生活に関する身近で簡単な事柄についての場面設定がされている。また、具体的な課題が設定された言語活動として、オリジナル時間割作りなどがある。 ・Let's tryでは、自分と共通点がある友だちを見つけたり、収集した情報を整理したりするなどの目的を持たせた場面設定がされている。 ・Let's listen and readにある表現をモデルとして、You can do it!!の活動で自分に関することについて表現する場面設定がされている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ年の海外の子どもたちに関する映像視聴を通して、外国の文化や生活について理解できる。 ・ワールドツアーにおいて、日本と他国を比べて共通点や違う点について話し合い、自分の価値観や考え方を広げる活動が設定されている。 ・段階を踏んだ学習を設定し(Hop Step1 Step2 Jump)、コミュニケーション活動を繰り返しながら、自己表現ができることをゴールとした構成になっている。 ・他教科等と関連する学習が設定されている。 国語…英語になった日本語、お話づくり 理科…食物連鎖 社会、図画工作…地図作り 等 	

種目名 英語	発行者名	株式会社新興出版社啓林館
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」について、ジングルやチャンツが単元の中に複数設定されている。 ・「聞くこと」について、具体的な情報を聞きとったり、話の概要を捉えたりする活動が多く設定されている。 ・「話すこと [やりとり]」「話すこと [発表]」から「書くこと」につながる活動が設定されている。 ・Reviewの中にある「読むこと」について、ポスターやグラフから情報を読み取る活動が設定されている。 ・単元の終わりに、文字の音を「聞くこと」、文字を「読むこと」「書くこと」についての活動がある。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・道案内や日課、夏休みの思い出、将来の夢など児童の日常生活に関する身近で簡単な事柄についての場面設定がされている。 ・例を参考に、自分のことについて、まとまりのある内容を表現する設定がされている。 ・時間や状況など条件が設定され、それに合わせて適切な表現をするような言語活動がある。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の終わりに異文化理解のページがある。 ・前半に理解がしやすい聞く活動(線つなぎや〇×クイズなど)を行ってから、チャンツややり取りの活動を経て、書く活動につなげている。また、それらの積み重ねを活かして、自分のことについて発表することを最終ゴールとしている。 ・他教科と関連する学習が設定されている。 国語…日本語との語順やアクセントの違い。6年生のstoryでは国語科の学習の物語文を取り上げている。 算数…表やグラフの読み取りや作成 理科…おもしろい生物、植物などの写真を取り上げる。他国での温度の表示を紹介する。 社会…都道府県の特徴、外国の祭り、習慣 道徳…異文化理解や自国の文化、他者理解 総合…防災教育(海外のピクトグラム)・キャリア教育 その他…今日的な課題の取り扱い(オリンピック・パラリンピックなど) 	

道 徳

東 京 書 籍

学 校 図 書

教 育 出 版

光 村 図 書

日 本 文 教

光 文 書 院

学研教育みらい

廣 あ か つ き

観点の内容

道徳科 目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定 ・現代的な課題に関する内容等多様な教材の取扱 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値が人間らしさを表すものであることに気付き、価値理解と同様に人間理解や他者理解を深めていくよう留意する。 ・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、児童が問題意識をもって学ぶことができるように留意する。
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動 ・多様な考え方を生かすための言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を一面的に捉えるのではなく、児童自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解し、主体的に学習に取り組むことができよう留意する。 ・児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実させることに留意する。
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう留意する。 ・各教科等と道徳科の指導のねらいが同じ方向であるとき、学習の時期を考慮したり、相互に関連を図ったりして指導を進めると、指導の効果を一層高めることができる。その際、各教科等と道徳科それぞれの特徴が生かされた関連となるよう留意する。

調査方法

種目名【 道徳 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材以外の、道徳的価値の理解を深める教材の数について調査を行った。 例) コラム、先人の名言等を取り上げている箇所 ・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応(情報モラル)等の現代的な課題等に関する内容等について調査を行った。
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的・多角的に考えるための学習活動に資する教材の数について調査を行った。 例) 友達のいいところ見つけ等、多様な考え方が生まれる活動の設定 ・多様な考え方を生かすための言語活動について、書き込み部分の数や話し合い活動を具体的に設定した数について調査を行った。
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動が設定されている教材の数について調査を行った。 ・道徳科と各教科等との関連を持たせた指導、日常生活における実践につなげることができるような設定がなされている教材の数について調査を行った。

調査結果 道徳

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力や人間性等	
発行社	研究調査事項	道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定	現代的な課題に関する内容等多様な教材の取扱	物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動	多様な考え方を生かすための言語活動の設定	自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりの学習活動の設定	各教科等と関連をもたせる実践との関連に関する内容
		東京書籍	1年生		○	○	
2年生	○					○	○
3年生	○					○	○
4年生	○					○	○
5年生				○		○	○
6年生			○			○	○
学校図書	1年生	○			○	○	
	2年生	○			○	○	
	3年生	○			○	○	
	4年生	○			○	○	
	5年生	○	○		○		
	6年生	○			○		○
教育出版	1年生		○	○		○	
	2年生		○	○		○	
	3年生		○	○		○	
	4年生		○	○		○	
	5年生		○	○		○	
	6年生		○	○		○	
光村図書	1年生		○	○		○	
	2年生		○	○		○	
	3年生		○	○		○	
	4年生		○	○		○	
	5年生			○		○	○
	6年生		○	○		○	
日本文教	1年生		○	○	○		○
	2年生			○	○		○
	3年生	○		○	○		
	4年生			○	○	○	
	5年生			○	○		○
	6年生			○	○		○
光文書院	1年生	○	○				○
	2年生	○	○				○
	3年生	○	○				○
	4年生		○			○	○
	5年生	○	○				○
	6年生		○			○	○
学研教育	1年生	○	○	○			
	2年生	○		○		○	
	3年生	○	○	○			
	4年生	○	○	○			
	5年生	○	○	○			
	6年生	○	○	○			
廣あかつき	1年生	○			○		○
	2年生	○			○		○
	3年生	○	○		○		
	4年生	○			○		○
	5年生	○			○	○	
	6年生	○		○	○		

種目名 道徳	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・従来からおなじみの教材と、現在活躍している著名人を題材にした教材等が組み込まれ、児童が教材を身近に感じ、共感できることを重視した内容になっている。情報モラル、安全・防災、スポーツ、キャリア教育などの現代的な課題を扱った教材では、特に児童の身近な問題や課題から自分事として考えていけるように内容が工夫されている。 ・いじめに関する教材は、全学年、「とびらのページ」「直接的教材」「間接的教材」の三要素からなるユニットが組み立てられており、いじめは許されないということの確認から、いじめをしない許さない心をさまざまな道徳的価値の理解によって下支えできるように構成されている。 ・巻末の付録は、写真や名言、歌の歌詞などが多数掲載されており、学習内容を深めるために有効なページとなっている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・「出会う ふれ合う」では、すべての学年において、いいところ見つけの活動や体験的な活動の例が記されている。挿絵やワークシートの例とともに活動の仕方がステップ別に示されていて、視覚的にわかりやすい。 ・「考えよう」では、学習の手引きとして話し合いのポイントが文章で簡潔に記されているところがあり、多様な考えを生かす言語活動を設定するための参考とすることができる。 ・「考えるステップ」では、話し合いの手順が詳しく記されているところがあり、考え・議論する学習活動の具体例としてわかりやすい。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の巻末に「学習の記録・学習の振り返り・学習のまとめ」のページが設けられており、毎時間の振り返り、学期ごとのまとめ等ができるようになっている。児童自らが成長を実感できることや、記述内容から成長を見取ることができる。また、次の学年への希望やこれからの課題が書けるようになっている。 ・1・2年生は、教材の冒頭に「はじめに」が記載されており、道徳的価値に関わってこれまでの自分を振り返る発問がされている。3年生以上は、教材の最後に「考えよう」が記載されており、振り返りやこれからの自分について考えるような発問がされている。 ・3年生以上の学年に「つながる・広がる」のコーナーが設定してあり、道徳で学習したことを他の学習とつなげたり、日常生活に広げたりすることができるようになっている。 	

種目名 道徳	発行者名	学校図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなび」にコラムや先人の名言が多数掲載されており、併せて使うことで、学んだ内容を深め、広げて考えられる。 ・児童が親しみやすいスポーツ選手の生き方や、普段利用しているスマートフォンの使い方などを題材にした教材など、現代的な課題を身近な問題としてとらえられるように工夫されている。いじめをなくすことや、周りの人との関係について、繰り返し、様々な側面から考え学ぶことができるように「ともにいきる」マークで示した教材を計画的に配列している。また、コラムにも「ともにいきる」ページを設け、併せて活用できるように工夫されている。 ・特に高学年において、社会参画や主権者教育、持続可能な社会の発展などの現代的な課題をテーマとする教材が多く配列されており、社会の一員として様々な問題を解決しながら、よりよく生きる力を育てることが重要視されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなび」には、毎時間同じ形式で学習の記録を残すことができる。教材で学習した後に、自分の考えや友だちの考えを自由に書き込むスタイルは、何を書けばよいかのかがどの子にもわかりやすい。 ・書き込み欄の大きさは、考えを簡潔にまとめて記録することができるサイズに工夫されている。 ・どの学年にも、役割演技が取り入れられている。演じて考え、話す活動の例が簡潔な言葉で記されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年「きづき」「まなび」の二冊で一つの教科書として設定されている。「まなび」の中で、振り返りや今後の課題について考える発問がされている。 ・「まなび」には、教材毎に「つなげていこう」が設定されており、自己評価ができるようになっている。また、同じ内容項目の学習の記録が同じページに書けるようになっており、学びを重ねる中で児童自身が成長を感じることができ、児童の変容を見取することもできる。 ・「まなび」の冒頭の「まなびの道しるべ」のページには、学習をして振り返りを書く欄に家の人から言葉をもらう箇所があり、家庭との連携を図れるようになっている。 	

種目名 道徳	発行者名	教育出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」「命」「情報モラル」に重点を置き、それらを児童の実態や発達段階に応じてスパイラルに配置することで、段階的に考えを深めていけるように構成されている。児童自身が本時で考える道徳的課題に気づき課題意識をもって学習に臨めるような「拡大導入」のページが、教材のはじめに適宜設けられている。 ・「いじめ問題」「生命尊重」「情報モラル」などをテーマとした現代的課題を幅広く取り入れると同時に、今までから実践研究が積み重ねられてきた定番と言われている教材も扱われている。食育、防災教育、法教育などの現代的な課題については、身近な事例をもとに考えられる工夫がなされている。 ・コラム自体がしっかりした読み物になっており、道徳的価値についての理解を促進するようなものとして、各学年に1つ～3つ配置されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技を多く取り入れている。演じて考えたことを話したり、友達の演じる姿を見て感じたことを話したりする活動の展開例が詳しく記されていて、多様な意見が交流できるようにするための工夫がされている。 ・「つなげよう」の中には、いいところ見つけの活動や話し合い活動の例などが記されているところがある。 ・事前の学習や授業の導入時に活用できる書き込み欄が設定されているところがあり、問題意識を高めるための工夫がみられる。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の最初に、ねらいとする道徳的価値に関する経験を想起できる問いかけが設けられている箇所がある。 ・教材毎に学びの手引きが掲載されており、「深めよう」のコーナーでは、授業の終末段階で活用できる発問が設定されており、学習した道徳的価値について考えたことを振り返って書けるようになっている。また、「つなげよう」のコーナーが数か所設けられており、学習したことを実生活にどのようにつなげていくか考えることができるようになっている。 ・教科書の巻末に「学びの記録」を書き込む箇所が設定されており、学習の記録や一年間の振り返りができるようになっている。「家の人から一言」の欄があり、家庭との連携を図ることができる。 	

種目名 道徳	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代的な課題については、「よびかけ」「教材」「コラム」としてユニットが組まれており、児童が課題をとらえやすいように構成されている。また、各ユニットに適した指導時期を考慮し教材が配置されている。現代的な課題については、世界とのつながりや多様な人々との共生、自然との深い関わりを持ちながら考えることに重点を置いた内容として工夫されている。 ・ 情報モラル教材は、発達段階に応じた課題に向き合えるよう、系統的に取り上げられている。学習する中で、情報モラルの根底にある、他者への共感、きまりの持つ意味について考えを深められるように配慮されている。 ・ 読み物教材のほかに印象的な詩教材、インパクトのある写真教材、言語活動を中心とした教材、読みの負担を軽減する漫画教材など、多種多様な教材を取り入れ、児童の学習意欲を引き出す工夫がされている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの学年にも、役割演技が取り入れられている。「演じて考えよう」では、役割演技を通して考えを深めるための学習活動例が具体的に詳しく記されている。 ・ 「考えよう・話し合おう」では、問題解決的な学習の道筋が示され、多面的・多角的な思考を促す工夫がみられる。また、書き込み欄を設定しているところもあり、話し合いの仕方や意見の書き方の具体例が記されていて、多様な意見を引き出すための工夫がされている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材冒頭に、キャラクターによる児童への呼びかけの言葉が示してあり、「今までの生活を振り返って考えるような発問が多く、児童が学びに向き合えるようになっている。 ・ 教材末に「考えよう・話し合おう」が設けられており、学んだことをじっくり振り返ったり、自分自身の生活を掘り下げて振り返ったりできるようになっている。また、「つなげよう」では、他教科の学習内容との関連付けや、関連する図書の紹介などが示されている。 ・ 自己評価の記録を残す「学びの記録」が3か所に位置付けられており、教材毎に自分の言葉で書けるようになっている。 	

種目名 道徳	発行者名	日本文教出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・教材名とは別に、主題と見出しを掲載し、課題意識をもって考えることができるよう配慮されている。また、各学年に6～8教材の直接的・間接的にいじめに関する教材を配置し、「人とのかかわり」を重点テーマの一つととらえ「いじめ防止ユニット」として2～3つの教材を関連付けて学べるように配置するなどの工夫がされている。 ・道徳的価値の理解につながる「心のベンチ」と題したコラムが各学年で5つ程度掲載されており、授業で学んだことを実際の生活や社会とつなげて考えたり、話し合ったりできるように工夫されている。 ・防災、安全、キャリア教育、情報モラルなどの現代的・社会的課題をテーマとした教材をバランスよく取り入れ、様々な問題や多様な人々との関わりの中で生きる上で大切なことについて学べるように配慮されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊道徳ノートがあり、書き込み欄が充実している。問いに対する考えを記す欄の他に自由なテーマで書き込めるスペースも設定されていて、学習活動に合わせた活用がしやすいよう工夫されている。教科書にも明確な意図をもって書き込み欄が設定されているところがあるなど、充実している。 ・役割演技を取り入れた学習の展開例、問題解決的な学習の展開例、いいところ見つけの活動の展開例などが絵や写真とともに示され、学習の手順もわかりやすい。 ・「心のベンチ」には、話し合い活動の進め方について、具体例が挿絵とともにわかりやすく示されている。特定の教材ではなく、様々な教材の話し合いで使える方法として、参考にすることができる。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・導入のための発問例が最初に掲載されており、その教材で学習する道徳的価値に関するこれまでの経験を振り返ることができるようになっている。 ・教材の終わりに「見つめよう・生かそう」のコーナーが設置されており、自分の今までの生活や体験を振り返って、その時の気持ちを見つめる発問が掲載されている。 ・別冊道徳ノートを活用し、毎時間の振り返りがしやすくなっている。巻末に保護者記入欄が設けられており、家庭と学校間の連携を図ることに役立つようになっている。 	

種目名 道徳	発行者名	株式会社光文書院
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題を扱ったもののうち、「情報モラル」について、読み物教材とは別に各学年に特設コーナーのような形で見開き2ページで構成され、6年間で系統立てて学べるように工夫されている。 ・生命、法やきまり、持続可能な社会の発展に関する教材を目次で色分けしてひとまとめにし、当該学年で「特に考えたいこと」としてマークで表示するなど、重点的に学べるような工夫や配置がされている。 ・いじめを生まない心を育てる教材が、各学年6つ程度掲載されている。内容は直接的にいじめを扱うものだけでなく、相互理解や公正公平などの価値を扱う教材もあり、多方面からいじめを生まない心を育てようと構成されている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の前に自分の考えを持つこと、友だちのよさを見つけることなど明確な意図のもとに書き込み欄が設けてある。 ・各教材文の前に問いかけがあり、問題意識をもって学習に臨むことができるよう工夫されている。 ・どの教材文にも学習の手引きが短い文章で記されている。これを手掛かりに、問題解決的な学習や体験的な活動を、指導者の意図で柔軟に設定することが可能である。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に「まとめる」として、深く掘り下げて自分を見つめ直す発問がされている。教科書の巻末には、「学びの足あと」が設けてあり、1時間ごとに振り返りができる部分と、全体としてまとめられる部分を書けるようになっている。 ・教材末の「広げる」では、「家の人に、聞いてみましょう、話してみましょう、話し合いましょう」といった日常生活と関連をもたせる発問がされており、家庭との連携が配慮されている。3年生以上には、「調べてみよう」「探してみよう」「実行しよう」など具体的な課題が示されている。 ・どの学年にも「ことばのたからもの」のコーナーがあり、言葉から学ぶ教材が設定されている。 	

種目名 道徳	発行者名	株式会社学研教育みらい
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・名言や教材を発展的に捉える内容の記事を取り上げたコラムなど、補助的な資料が多数掲載されており、読み物教材で学んだ内容と身近な生活や社会とのつながりをもたせようとする意図や工夫がみられる。 ・法教育や消費者教育、生命尊重、国際理解教育など、現代的な課題に関する教材を、特に中学年以上で多く取り入れ、これからの困難な時代を生き抜く力や人々と共生していく力を育てることを重視している。 ・情報モラルを扱う教材では、SNSの実際のやりとりの場面や利用状況のデータなどを取り入れ、子どもたちの生活の中で現実に起こり得る問題と向き合いながら考えることができる内容となっている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技等の道徳的行為に関する体験的な活動、問題解決的な学習など、学習の多様な展開の仕方がわかりやすく例示されている。 ・「つなげよう」「深めよう」「やってみよう」では、書き込み欄が設定されていたり、話合いの道筋がわかりやく示されたりしている。 ・話合いの仕方について、ペアやグループなど、学年の発達段階に合った例が示されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・教材毎に設定された「考えよう」では、道徳的価値の視点で自分の生活を振り返ったり、これからの目標を考えたりする問いかけがあり、学びを生活につなげることができる手立てとなっている。 ・「つなげよう」のコーナーでは、今の自分にできることは何かと具体的に考えるなど、教材で学習したことをもとに、自己を見つめ、自分の生き方につなげて考えることができるようになっている。 ・全学年で、内容項目が異なる2つの教材を2時間続きで学習する設定がされており、多様な視点で感想をまとめることにより、自己の生き方について深く考えることができるようになっている。 	

種目名 道徳	発行者名	廣濟堂あかつき株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止、人権尊重に関する教材を、発達段階に応じて配置している。低・中学年では、多様な実態を考慮し、「いじめ」そのものを扱っていないが、高学年では、直接「いじめ」を取り上げ、いじめの問題について深く考えられるようになっている。 ・先人の伝記や多様な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を扱った教材を多く取り入れている。夢をもつ生き方や困難を乗り越える力強い生き方などについて、人物を身近に感じながら、深く考えられるように工夫されている。 ・健康、福祉、社会の持続可能な発展など、現代的な課題に関する教材をバランスよく取り入れ、児童が身近な問題としてとらえ、考えることができるように構成されている。 ・格言や名言が随所に掲載されており、学習内容と関連付けて読むことで、価値をより深く考えられるようになっている。 	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊道徳ノートは、自由に書き込めるページと問いかけに対する書き込みができるページの両方があり、多様な考えを引き出すための工夫がみられる。 ・別冊道徳ノートは、道徳科の学習の記録や書き込み欄だけでなく、道徳と関連する活動の記録欄が設けられている。他教科の学習や生活と関連付けて考えが深められるよう工夫されている。 ・一つひとつの教材文の後に、考えたり話し合ったりするためのポイントが文章で記されている。学年が上がるほど、学習の道筋が詳しく示されている。 	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊道徳ノートの巻末には、時系列に沿って振り返りができる欄が設けられており、児童の成長実感を促すことができるようになっている。また、「話し合い活動の記録」や「心に残っている授業の記録」を記載できる箇所、学びを振り返ることができる。 ・教材の最後に「考えよう・話し合おう」のコーナーが設置されており、その中の「学習を広げる」の箇所では、教材や内容項目と関連する本の紹介が多くされており、読書活動を通して「道徳的価値」への思考を深めることができるようになっている。 	

— 中学校特別支援学級 —

○知的障害のある生徒の場合

教科書の調査研究における観点について 1

教科用図書調査研究観点（著作教科書・一般図書） 5

国 語

書 写

社 会

地 図（社会）

数 学

理 科

音 楽

美 術

保 健 体 育

技 術 ・ 家 庭

外国語（英語）

道 徳

○知的障害をとみなわない生徒の場合 8

滋賀県教育委員会

本県では、第3期教育振興基本計画（2019～2023年度）を策定し、基本目標である、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を掲げ、滋賀に生きる子どもたちの確かな学力を育むため、新学習指導要領の求める教育の理念に基づき、一人ひとりの基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、文章や対話などから「読み解く力」を社会で生きていくために必要な力と位置付け、身に付けた知識・技能を活用して解決する力を育む教育の推進を図るところである。

特別支援教育においては、障害のある児童生徒一人ひとりが、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服し、自立と社会参加のために必要な知識、技能、態度や表現力、習慣を養うことを目的として、それぞれの障害の種別や程度に応じた指導を行う必要がある。また同時に、児童生徒一人ひとりの「学ぶ力」を向上させていくことが大切である。

このため、障害のある児童生徒が使用する教科書の調査研究にあたり、学習指導要領の各教科・分野の「目標」を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の習得とその活用に特に留意し調査研究をするものとする。

また、児童生徒が二つ以上の障害を併せ有する場合に加えて留意すべき項目として、それぞれの障害種に応じた基礎的な視点を加味しながら調査研究する。

■「自立と社会参加のために必要な知識、技能、態度、習慣の育成」にかかる調査研究の観点

- A 日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう基礎的・基本的な事項が取り上げられているか
- B 社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるための言語活動の充実に向けた内容となるよう工夫されているか
- C 児童生徒の自主的・自発的な学習に結び付くよう工夫されているか
- D 家庭や地域と結びついた学習となるよう工夫されているか
- E 作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されているか

◇ 観点A：

日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう基礎的・基本的な事項が取り上げられているか

自立と社会参加をめざし、日常生活や社会生活に必要な技能や習慣が身に付くよう指導するとともに、あいさつや礼儀作法、また時間を守ることや決まりを守ることなどの日常生活や社会生活に密接に関係した指導は大変重要である。

こうしたことから、日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう、できるだけ基礎的・基本的な事項や事柄が取り上げられている必要がある。

◇ 観点B：

社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるための言語活動の充実に向けた内容となるよう工夫されているか

知識・技能の習得や、これらを活用して課題を解決するために思考し、判断し、表現することはすべて言語によって行われることから、言語能力を高めることは、感性や情緒を育て、他者とのコミュニケーション能力や社会性、豊かな心を育むことにつながっていく。

こうしたことから、社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるためにはその基盤となる言語活動の充実が必要であり、そのための取組や指導に十分な配慮がなされている必要がある。

◇ 観点C：

児童生徒の自主的・自発的な学習に結び付くよう工夫されているか

障害のある児童生徒、とりわけ知的障害のある児童生徒の場合、成功経験が少なく主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていないことがある。このため、日常生活と密接に関連した題材を使用することで児童生徒に興味・関心を持たせ、また学習の内容が日常生活や将来の自分にとってのようにならされ、つながっていくかを理解させることで、児童生徒の自主的・自発的な学びへとつなげていくことが大切である。

こうしたことから、児童生徒にとって日常的でわかりやすく、また取り組みやすい題材により、意欲や関心、自ら学ぶ態度や姿勢を育てる内容となるよう工夫されている必要がある。

◇ 観点D：

家庭や地域と結び付いた学習となるよう工夫されているか

知的障害のある児童生徒は、その障害の特性から学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、家庭や地域など実際の生活の場で応用されにくいことが多い。このため、学校と家庭や地域との連携による授業づくりや主体的な学びの充実により、児童生徒の持つ力が家庭や地域の中で発揮できるよう指導を工夫することが大切である。

こうしたことから、できるかぎり家庭での学習や地域とのつながりを取り上げるなどして、家庭や地域と結び付いた学習となるよう工夫されている必要がある。

◇ 観点E：

作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されているか

自立と社会参加に向けては、作業や体験の積み重ねにより児童生徒に自信をつけさせていくことが重要である。このため、体育的な活動や文化芸術活動を含めたすべての教科において、児童生徒が自ら課題を設定して、解決に向けて見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を行うことで、児童生徒が知的な好奇心や探究心を育て、主体的に学習に取り組む態度を養えるよう取り組むことが大切である。

こうしたことから、作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されている必要がある。

■ 児童生徒が二つ以上の障害を併せ有する場合に留意すべき事項について

以下に示す点を加味して調査研究を行う。

◇ 「視覚障害」

視力や視機能障害の状態、また拡大鏡等の使用による認識の程度にあっているか。

- ・ 行間が広く、文字が大きいか。
- ・ 色彩が鮮明であるか。
- ・ 絵が大きく、簡略であるか。

◇ 「聴覚障害」

視覚によって得られた内容が、言語発達を促すことにつながる内容であるか。

◇ 「肢体不自由および病・虚弱」

- ・ 肢体不自由の児童生徒にとって取り扱いやすく、かつ安全で破損しにくい体裁（紙質、判型、装丁）であるか。
- ・ 肢体不自由児に多く見られる、不随意運動や眼球振とう、また視野狭窄等の視知覚障害のある児童生徒に対して、「視覚障害」と同様に配慮されているか。

中学校特別支援学級教科用図書調査研究観点（文部科学省著作教科書・一般図書）
（知的障害のある生徒の場合）

「教科書の調査研究における観点」のA～Eの各項目を踏まえたうえで、以下の各教科の具体的観点により調査研究すること。

通各 する教科 具体 的種 的目 観 点	<p>① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。</p> <p>② 生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。</p> <p>③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。</p>	
	各 教 科 ・ 種 目	<p>国 語</p> <p>④ 日常生活や社会生活に必要な国語についての理解を深める内容となっているか。</p> <p>⑤ 生徒が意欲的に言語活動を充実していくことができる内容となっているか。</p> <p>⑥ 生徒の読書活動を活発にするよう工夫されているか。</p>
	毎 の 具 体 的 観 点	<p>書 写</p> <p>④ 字形を整え、文字の大きさや配列などに気をつけて書く力を育てる内容となっているか。</p> <p>⑤ 筆記具や用紙の特質を生かし、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p>
		<p>社 会</p> <p>④ 社会への理解と関心を深め、社会生活に必要な能力と態度を育てるうえでふさわしい内容となっているか。</p> <p>⑤ 生徒の生活経験や行動範囲の拡がりを踏まえ、社会生活に必要な体験的活動が展開できる内容となっているか。</p>
	<p>地 図</p> <p>④ 国土の様子や社会事象、自然環境等への理解と関心を深められる内容となっているか。</p> <p>⑤ 写真・統計資料などは最新のものが使われ、理解しやすいよう工夫されているか。</p>	

各教科・種目毎の具体的な観点	数 学	<p>④ 日常生活に必要な数量や図形などについての理解を深め、それらを扱う能力と態度を育てる内容となっているか。</p> <p>⑤ 日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動などが工夫されているか。</p>
	理 科	<p>④ 身近な自然の事物・現象について興味を持ち、自然の仕組みや働きなどについて理解を深める工夫がされているか。</p> <p>⑤ 日常生活の中で科学的な見方や考え方を養い、自然を大切にする態度を育てる内容となっているか。</p>
	音 楽	<p>④ 音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。</p> <p>⑤ 楽しく音楽に関わり、自己表現活動や鑑賞活動ができるよう工夫されているか。</p>
	美 術	<p>④ 造形活動によって、表現および鑑賞の能力を培い、豊かな情操を養う内容となっているか。</p> <p>⑤ 造形活動のための材料・用具や技法が幅広く取り入れられ、表現が広がるよう工夫されているか。</p>
	保健体育	<p>④ 運動や健康・安全についての理解を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる内容となっているか。</p> <p>⑤ 安全に体力の向上を図ることができるよう工夫されているか。</p>

	技術・家庭	<p>④ 職業生活や家庭生活の大切さに気付かせるとともに、必要な基礎的知識と技能の習得を図ることができる内容となっているか。</p> <p>⑤ 事故防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。</p>
	外国語 (英語)	<p>④ 外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。</p> <p>⑤ 日常生活でよく使われる言葉や生活の中の活動を通して学習できるよう工夫されているか。</p>
	道徳	<p>④ 強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。</p> <p>⑤ 豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。</p>

○知的障害をともなわない生徒の場合

肢体不自由、病弱・身体虚弱、難聴、弱視、自閉症・情緒障害学級における知的障害をともなわない生徒の場合は、中学校の通常の学級における教科用図書に準じて採択するものとする。

ただし、視覚障害のある生徒に対して検定済教科書と同一内容の文字等を拡大したいわゆる「拡大教科書」を採択する場合は、附則 9 条第 1 項の規定による教科用図書としての取扱いとなることに留意する。

令和3年度用

一般図書一覧

令和2年3月

は し が き

- 1 この「一般図書一覧」は、学校教育法附則第9条第1項に基づき令和2年度に義務教育諸学校で使用する教科書として採択された一般図書（絵本等）のうち、比較的採択数の多いもので、かつ発行者が令和3年度においても引き続き当該図書の発行・供給を予定しているものを収録したものである。
- 2 掲載されたそれぞれの図書の内容については、文部科学省において適・不適の判断を加えているものではない。
- 3 学校教育法附則第9条第1項の規定による一般図書（絵本等）の採択に当たっては、採択権者において十分な調査研究の上、児童生徒用の教科の主たる教材としての内容を具備した教育上適切なものを採択する必要がある。したがって、教師用の図書、特定の題材若しくは一部の分野しか取り扱っていない図書等は適切でないことに留意されたい。（文部科学省から発出される採択事務処理に関する通知等も参照のこと。）
- 4 この「一般図書一覧」に収録された発行者数は63者、図書点数は347点である。

目 次

発行者予定者一覧	1
個別図書一覧	3

発行者予定者一覧

発行者 コード	発行者 略 称	発行者名	郵便番号	住所	電話番号
01-1	あかね書房	株式会社 あかね書房	101-0065	東京都千代田区西神田3-2-1	03-3263-0641
02-1	岩崎書店	株式会社 岩崎書店	112-0005	東京都文京区水道1-9-2	03-3812-9131
04-1	絵本館	株式会社 絵本館	167-0051	東京都杉並区荻窪5-16-5	03-3391-1531
05-1	大阪教育図	大阪教育図書 株式会社	530-0055	大阪府大阪市北区野崎町1-25新大和ビル 3F	06-6361-5936
05-3	旺文社	株式会社 旺文社	162-8680	東京都新宿区横寺町55	03-3266-6255
06-1	借成社	株式会社 借成社	162-8450	東京都新宿区市谷砂土原町3-5	03-3260-3221
06-2	学研	株式会社 学研プラス	141-8415	東京都品川区西五反田2-11-8	03-6431-1197
06-4	開隆堂出版	開隆堂出版 株式会社	113-8608	東京都文京区向丘1-13-1	03-5684-6118
07-2	金の星社	株式会社 金の星社	111-0056	東京都台東区小島1-4-3	03-3861-1864
07-4	教芸	株式会社 教育芸術社	171-0051	東京都豊島区長崎1-12-15	03-3957-1177
07-5	教育画劇	株式会社 教育画劇	151-0051	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-15	03-3341-3400
08-1	くもん出版	株式会社 くもん出版	108-8617	東京都港区高輪4-10-18京急第一ビル1 3F	03-6836-0309
08-2	グランママ	株式会社 グランママ社	156-0054	東京都世田谷区桜丘1-17-18	03-3439-2301
10-1	講談社	株式会社 講談社	112-8001	東京都文京区音羽2-12-21	03-5395-3625
10-2	好学社	株式会社 好学社	105-0014	東京都港区芝3-3-15	03-5444-6911
10-3	国土社	株式会社 国土社	101-0062	東京都千代田区神田駿河台2-5	03-6272-6125
10-4	こぐま社	株式会社 こぐま社	112-0014	東京都文京区関口1-23-6プラザ江戸川 橋2F	03-6228-1877
10-5	小峰書店	株式会社 小峰書店	162-0066	東京都新宿区市谷台町4-15	03-3357-3521
10-8	合同出版	合同出版 株式会社	101-0051	東京都千代田区神田神保町1-44	03-3294-3506
10-9	こばと	有限会社 KOBATO	260-0033	千葉県千葉市中央区春日1-20-15篠原ビ ル1F	043-215-8976
10-10	コクヨ	コクヨ 株式会社	357-8686	大阪府大阪市東成区大今里南6-1-1	03-6447-2811
11-1	さえら	株式会社 さえら書房	162-0842	東京都新宿区市谷砂土原町3-1	03-3268-4261
11-4	三省堂	株式会社 三省堂	101-8371	東京都千代田区神田三崎町2-22-14	03-3230-9521
12-2	小学館	株式会社 小学館	101-8001	東京都千代田区一ツ橋2-3-1	03-3230-5737
12-7	女子栄養大	女子栄養大学出版部	170-8481	東京都豊島区駒込3-24-3	03-3918-5411
12-8	ジュラ	株式会社 ジュラ出版局	113-8611	東京都文京区本駒込6-14-9	03-5395-6657
12-10	視覚デザイ	株式会社 視覚デザイン研究所	101-0051	東京都千代田区神田神保町1-22北信ビル 4階	03-5280-1112
13-2	鈴木出版	鈴木出版 株式会社	101-0051	東京都千代田区神田神保町3-5 住友不動産 九段下ビル9F	03-6774-8813
14-3	育成会	全国手をつなぐ育成会連合会	520-0860	滋賀県大津市石山千町256-1	077-536-5297
14-4	成美堂出版	成美堂出版 株式会社	162-8445	東京都新宿区新小川町1-7	03-5206-8155
14-5	世界文化社	株式会社 世界文化社	102-8187	東京都千代田区九段北4-2-29	03-3262-5120

発行者 コード	発行者 略 称	発行者名	郵便番号	住所	電話番号
15-3	草思社	株式会社 草思社	160-0002	東京都新宿区新宿1-10-1	03-4580-7676
16-3	大日本絵画	株式会社 大日本絵画	101-0054	東京都千代田区神田錦町1-7錦町1丁目ビル内	03-3294-7861
16-4	太郎次郎社	株式会社 太郎次郎社エディタス	113-0033	東京都文京区本郷3-4-3-8F	03-3815-0605
17-1	チャイルド	株式会社 チャイルド本社	112-8512	東京都文京区小石川5-24-21	03-3813-7726
20-1	童心社	株式会社 童心社	112-0011	東京都文京区千石4-6-6	03-5976-4181
20-2	ドレミ楽譜	株式会社 ドレミ楽譜出版社	171-0033	東京都豊島区高田3-36-4 クリエイティブ・ボックスビル	049-256-6475
20-3	東京書店	東京書店 株式会社	101-0051	東京都千代田区神田神保町3-5 住友不動産九段下ビル9F	03-5212-4100
20-4	戸田デザイ	有限会社 戸田デザイン研究室	112-0002	東京都文京区小石川2-17-6	03-3812-0955
20-5	同成社	株式会社 同成社	102-0072	東京都千代田区飯田橋4-4-8東京中央ビル	03-3239-1467
20-7	東洋館	株式会社 東洋館出版社	113-0021	東京都文京区本駒込5-16-7	03-3823-9206
21-1	永岡書店	株式会社 永岡書店	176-8518	東京都練馬区豊玉上1-7-14	03-3992-5155
21-2	ナツメ社	株式会社 ナツメ社	101-0051	東京都千代田区神田神保町1-52	03-3291-1257
22-3	日本教育研	株式会社 日本教育研究出版	153-0051	東京都目黒区上目黒3-6-2伊藤ビル302	03-6303-0543
25-1	のら書店	有限会社 のら書店	102-0071	東京都千代田区富士見2-3-27ハーモニ別館102号	03-3261-2604
27-1	ひかりのく	ひかりのくに 株式会社	543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町3-2-14	03-3979-3112
27-2	評論社	株式会社 評論社	162-0815	東京都新宿区筑土八幡町2-21	03-3260-9401
27-3	ひさかた	株式会社 ひさかたチャイルド	112-0002	東京都文京区小石川4-16-9-207	03-3813-7726
27-4	PHP	株式会社 PHP研究所	601-8411	京都府京都市南区西九条北ノ内町11	03-3520-9630
28-1	福音館	株式会社 福音館書店	113-8686	東京都文京区本駒込6-6-3	03-3942-0048
28-2	婦人之友	株式会社 婦人之友社	171-8510	東京都豊島区西池袋2-20-16	03-3971-0103
28-3	ブロンズ新	株式会社 ブロンズ新社	150-0001	東京都渋谷区神宮前6-31-15マンション31 3F-B	03-3498-3272
28-4	文化出版局	学校法人 文化学園文化出版局	151-8524	東京都渋谷区代々木3-22-1	03-3299-2540
28-6	文研出版	文研出版	113-0023	東京都文京区向丘2丁目3番10号	03-3814-5181
28-7	福村出版	福村出版 株式会社	113-0034	東京都文京区湯島2-14-11	03-5812-9702
28-8	フレーベル	株式会社 フレーベル館	113-8611	東京都文京区本駒込6-14-9	03-5395-6613
29-1	平凡社	株式会社 平凡社	101-0051	東京都千代田区神田神保町3-29	03-3230-6572
30-2	ポプラ	株式会社 ポプラ社	102-8519	東京都千代田区麹町4-2-6住友不動産麹町ファーストビル	03-5877-8109
32-1	民衆社	株式会社 民衆社	113-0033	東京都文京区本郷4-5-9	03-3815-8141
33-1	むぎ書房	有限会社 むぎ書房	158-0094	東京都世田谷区玉川1-3-19アネックス小柳302	03-6411-7577
36-1	山と溪谷社	株式会社 山と溪谷社	101-0051	東京都千代田区神田神保町1-105	03-6744-1904
40-1	理論社	株式会社 理論社	101-0062	東京都千代田区神田駿河台2-5	03-6264-8890
40-3	リーブル	株式会社 リーブル	176-0004	東京都練馬区小竹町2-33-24インテリジェントスポット104	03-3958-1206

発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	単価(円)	備考
01-1	あかね書房	A01	もじのえほん あいうえお	1,500	
01-1	あかね書房	A02	もじのえほん かたかなアイウエオ	1,500	
01-1	あかね書房	A03	もじのえほん かんじ(1)	1,500	
01-1	あかね書房	A04	もじのえほん かんじ(2)	1,500	
01-1	あかね書房	B02	あかねえほんシリーズ かたちのえほんまる・さんかく・しかくさん	1,500	
01-1	あかね書房	B03	あかねえほんシリーズ えほんえかきうた	1,500	
01-1	あかね書房	E01	けんちゃんとおそぼう1 のってのって	1,200	
01-1	あかね書房	E03	けんちゃんとおそぼう3 まねっこまねっこ	1,200	
01-1	あかね書房	F02	くりのきえんのおともだち2 あしたえんそくだから	1,200	
01-1	あかね書房	G04	からだのえほん4 からだにもしもし	1,300	
01-1	あかね書房	H01	かばくん・くらしのえほん1 かばくんのいちにち	1,000	
01-1	あかね書房	H02	かばくん・くらしのえほん2 かばくんのおかいもの	1,000	
01-1	あかね書房	I01	あかね書房の学習えほん あそぼうあそぼうあいうえお	1,600	
01-1	あかね書房	I02	あかね書房の学習えほん おかあさんだいすき1. 2. 3	1,600	
01-1	あかね書房	I03	あかね書房の学習えほん ことばのえほんABC	1,500	
01-1	あかね書房	I05	あかね書房の学習えほん かたかなえほんアイウエオ	1,600	
01-1	あかね書房	I06	あかね書房の学習えほん えいごえほんぞうさんのピクニック	1,500	
01-1	あかね書房	I07	あかね書房の学習えほん えいごえほんぞうさんがっこうに行く	1,500	
01-1	あかね書房	O01	単行本 さわってあそぼうふわふわあひる	1,600	
02-1	岩崎書店	A06	あそびの絵本 ねんどあそび	1,400	
02-1	岩崎書店	A07	あそびの絵本 クレヨンあそび	1,300	
02-1	岩崎書店	A08	あそびの絵本 紙ねんどあそび	1,300	
02-1	岩崎書店	A17	あそびの絵本 えのぐあそび	1,300	
02-1	岩崎書店	A23	あそびの絵本 えかきあそび	1,400	
02-1	岩崎書店	B03	知識の絵本 ひとのからだ	1,300	
02-1	岩崎書店	C04	かいかたそだてかたずかん4 やさいのうえかたそだてかた	1,500	
02-1	岩崎書店	E01	五味太郎のこぼれかぜの絵本 漢字の絵本	1,300	
02-1	岩崎書店	E02	五味太郎のこぼれかぜの絵本 絵本ABC	1,300	
02-1	岩崎書店	E03	五味太郎のこぼれかぜの絵本 ことばのあいうえお	1,300	
02-1	岩崎書店	E04	五味太郎のこぼれかぜの絵本 かずの絵本	1,300	
02-1	岩崎書店	E05	五味太郎のこぼれかぜの絵本 すうじの絵本	1,300	
02-1	岩崎書店	F08	絵本図鑑シリーズ8 やさいのずかん	1,500	
02-1	岩崎書店	F12	絵本図鑑シリーズ12 のはらのずかんー野の花と虫たちー	1,500	
02-1	岩崎書店	G12	ひとりのできる手づくりBOX しぜんで工作しよう	1,500	
04-1	絵本館	A09	五味太郎の絵本9 いろ	800	
04-1	絵本館	A10	五味太郎の絵本10 かたち	800	
04-1	絵本館	D02	五味太郎の絵本 かずのえほん1・2・3	1,300	
05-1	大阪教育図	001	からだで学ぶ英語教室	1,550	
05-3	旺文社	B02	学校では教えてくれない大切なこと(2) 友だち関係(自分と仲良く)	850	
05-3	旺文社	B06	学校では教えてくれない大切なこと(6) 友だち関係(気持の伝え方)	850	
06-1	偕成社	003	かこさとし うつくしい絵	1,400	
06-1	偕成社	004	10+1人の絵本作家オリジナルソング集 うたのパレット	2,000	
06-1	偕成社	A02	エリック・カールかずのほん 1, 2, 3どうぶつえんへ	1,200	
06-1	偕成社	A04	ことばをおぼえる本 かず・かたち・いろあいうえお	1,800	
06-1	偕成社	D01	ノンタンあそぼうよ(1) ノンタンぶらんこのせて	600	
06-1	偕成社	D08	ノンタンあそぼうよ(8) ノンタンあわぶくぶくぶぶぶ	600	
06-1	偕成社	E01	「おれたち、ともだち！」絵本 ともだちや	1,000	
06-1	偕成社	F01	エンバリーおじさんの絵かきえほん しもんスタンプでかいてみよう	1,600	
06-1	偕成社	H01	日本むかし話 おむすびころりん	1,200	
06-1	偕成社	J04	子どもの健康を考える絵本(4) からだがすきなたべものなあに?	1,200	
06-1	偕成社	J05	子どもの健康を考える絵本(5) こんなときどうするの?	1,200	
06-1	偕成社	L01	100かいたてのいえシリーズ 100かいたてのいえ	1,200	
06-1	偕成社	O01	五味太郎・言葉図鑑(1) うぎのことば	1,400	
06-1	偕成社	O03	五味太郎・言葉図鑑(3) かざることば(A)	1,400	
06-1	偕成社	O05	五味太郎・言葉図鑑(5) つなぎのことば	1,400	

発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	単価(円)	備考
06-1	借成社	O06	五味太郎・言葉図鑑(6) ぐらしのことば	1,400	
06-1	借成社	O10	五味太郎・言葉図鑑(10) なまえのことば	1,400	
06-1	借成社	P02	赤ちゃん版ノンタン(2) ノンタンもぐもぐもぐ	600	
06-1	借成社	Q03	子どもの生活(3) マナーをきちんとおぼえよう!	1,200	
06-1	借成社	Q06	子どもの生活(6) じょうぶなからだになれるよ!	1,200	
06-1	借成社	R01	あかちゃんのおそびえほん(1) ごあいさつあそび	680	
06-1	借成社	R02	あかちゃんのおそびえほん(2) いないいないばああそび	680	
06-1	借成社	R03	あかちゃんのおそびえほん(3) いただきますあそび	680	
06-1	借成社	R04	あかちゃんのおそびえほん(4) ひとりであんちできるかな	680	
06-1	借成社	R06	あかちゃんのおそびえほん(6) いいおへんじできるかな	680	
06-1	借成社	S01	安全のしつけ絵本(1) きをつけようね	1,200	
06-1	借成社	T01	エリック・カールの絵本 はらべこあむし	1,200	
06-1	借成社	T02	エリック・カールの絵本 うたがみえるきこえるよ	1,400	
06-1	借成社	T03	エリック・カールの絵本(ぬりえ絵本) わたしだけのはらべこあむし	1,000	
06-1	借成社	T04	エリック・カールの絵本 くまさんくまさんにみてるの?	1,000	
06-1	借成社	T05	エリック・カールの絵本(ぬりえ絵本) ごちやまぜカメレオン	1,200	
06-1	借成社	T06	エリック・カールの絵本 月ようびはなにたべる?—アメリカのわらべうた	1,200	
06-1	借成社	T07	エリック・カールの絵本 できるかな?—あたまからつまさきまで—	1,200	
06-1	借成社	U01	五味太郎の絵本 わにさんどきっはいしゃさんどきっ	1,000	
06-1	借成社	V01	五味太郎・しかけ絵本(1) きいろいのはちようちよ	1,000	
06-1	借成社	W01	木村裕一・しかけ絵本(1) みんなみんなみ一つけた	1,100	
06-1	借成社	X01	坂本廣子のひとりでクッキング(1) 朝ごはんつくろう!	1,400	
06-1	借成社	X02	坂本廣子のひとりでクッキング(2) 昼ごはんつくろう!	1,400	
06-1	借成社	X07	坂本廣子のひとりでクッキング(7) おべんとうつくろう!	1,400	
06-1	借成社	Y01	ともだちだいすき(2) おべんとうなあに?	1,000	
06-1	借成社	Z01	子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活のマナー	1,500	
06-1	借成社	Z03	子どものマナー図鑑(3) でかけるときのマナー	1,500	
06-1	借成社	W12	木村裕一・しかけ絵本(12) げんきにごあいさつ	1,200	新規
06-2	学研	C03	はっけんずかん のりもの改訂版	1,980	
06-2	学研	G07	あそびのおうさまBOOK はじめてぬるほん	850	
06-2	学研	G08	あそびのおうさまBOOK はじめてきるほん	850	
06-2	学研	G09	あそびのおうさまBOOK どんどんぬるほん	950	
06-2	学研	I01	あそびのおうさまずかん からだ増補改訂	780	
06-2	学研	I12	あそびのおうさまずかん リサイクルこうさく増補改訂	780	
06-2	学研	J04	ふしぎ・びっくり!? こども図鑑 8きせつ	1,900	
06-2	学研	J09	ふしぎ・びっくり!? こども図鑑 9ちきゅう	1,900	
06-2	学研	L12	ニューワイド学研の図鑑 増補改訂人のからだ	2,000	
06-2	学研	N01	ほんのおおきさ ほんのおおきさ動物園	1,500	
06-2	学研	O01	あそびのおうさまBOOK めって	900	
06-2	学研	O02	あそびのおうさまBOOK はって	900	
06-4	開隆堂出版	001	職業・家庭たのしい職業科 わたしの夢につながる	1,800	
06-4	開隆堂出版	002	職業・家庭たのしい家庭科 わたしのぐらしに生かす	1,800	
07-2	金の星社	B02	あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんのいち・に・さん	780	
07-2	金の星社	B03	あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんのまる・さんかく・しかく	780	
07-2	金の星社	B04	あかちゃんとおかあさんの絵本 このいろなあに	780	
07-2	金の星社	E01	やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの?	1,200	
07-2	金の星社	F01	ひとりのできるもん! 1 たのしいたまご料理	1,960	
07-2	金の星社	F04	ひとりのできるもん! 4 うれしいごはん、パン、めん料理	1,960	
07-2	金の星社	F05	ひとりのできるもん! 5 すてきなおかし作り	1,960	
07-2	金の星社	F06	ひとりのできるもん! 6 だいすきおやつ作り	1,960	
07-2	金の星社	F10	ひとりのできるもん! 10 おしゃれなおかし作り	1,960	
07-2	金の星社	J04	やさしいからだのえほん4 むしばはどうしてできるの?	1,200	
07-2	金の星社	K01	げんきをつくる食育えほん1 たべるのだいすき!	1,300	
07-2	金の星社	001	おてつだいの絵本	1,400	
07-4	教 芸	005	5訂版歌はともだち	362	

発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	単価(円)	備考
07-5	教育画劇	A02	つくってたべよう！お料理マジック2	1,500	新規
08-1	くもん出版	A01	もじ・ことば1 はじめてのひらがな1集	660	
08-1	くもん出版	A03	もじ・ことば3 やさしいひらがな1集	660	
08-1	くもん出版	A11	もじ・ことば11 はじめてのかん字	660	
08-1	くもん出版	B01	生活図鑑カード たべものカード	900	
08-1	くもん出版	B02	生活図鑑カード くだものやさしいカード1集	900	
08-1	くもん出版	B06	生活図鑑カード お店カード	900	
08-1	くもん出版	B07	生活図鑑カード 生活道具カード	900	
08-1	くもん出版	C01	書かたカード「ひらがな」	1,300	
08-1	くもん出版	D01	ひらがなカード	1,200	
08-1	くもん出版	D02	とけいカード	1,200	
08-1	くもん出版	D03	かずカード	1,000	
08-1	くもん出版	E01	はとのクルックのとけいえほん	1,400	
08-1	くもん出版	F01	おけいこ はじめてのおけいこ	660	
08-1	くもん出版	G03	CD付き 楽器カード	1,500	
08-1	くもん出版	001	あいうえおべんとう	1,300	
08-1	くもん出版	H02	CD付き英語カードあいさつと話しことば編	1,500	新規
08-2	グランまま	001	ぼくとわたしのせいかつえほん	1,500	
08-2	グランまま	002	うたえほん	1,500	
08-2	グランまま	003	うたえほんⅡ	1,500	
08-2	グランまま	006	ことばえほん	1,700	
10-1	講談社	E01	講談社の年齢で選ぶ知育絵本 4・5・6さいのきもちをつたえることばのえほん	1,800	
10-1	講談社	H05	ブルーナのアイディアブック ミッフィーの1から10まで	850	
10-1	講談社	001	米村でんじろうのDVDでわかるおもしろ実験！！	1,600	
10-2	好学社	A01	レオ・レオニの絵本 スイミー	1,456	
10-3	国土社	B09	たのしい図画工作9 うごくおもちゃ	2,000	
10-3	国土社	B14	たのしい図画工作14 こすりだし・すりだし	2,000	
10-3	国土社	B16	たのしい図画工作16 ちぎり紙・きり紙・はり絵	2,000	
10-4	こぐま社	B01	こぐまちゃんえほん第1集 こぐまちゃんおはよう	800	
10-4	こぐま社	B03	こぐまちゃんえほん第2集 こぐまちゃんのみずあそび	800	
10-4	こぐま社	B05	こぐまちゃんえほん第3集 しろくまちゃんのほっとけき	800	
10-4	こぐま社	C01	ぶうとびよんのえほん おんなじおんなじ	1,000	
10-4	こぐま社	D01	ことばあそびの絵本 ぶたためきつねねこ	1,000	
10-4	こぐま社	E01	こぐまちゃんえほん別冊 さよならさんかく	800	
10-4	こぐま社	F02	馬場のぼるのえほん 11びきのねこ	1,200	
10-4	こぐま社	G01	柳原良平のえほん かおかおどんなかお	800	
10-5	小峰書店	B01	りかのこうさく1ねんせい	1,600	
10-5	小峰書店	C01	くまたんのはじめてシリーズ よめるよめるよあいうえお	1,200	
10-5	小峰書店	C02	くまたんのはじめてシリーズ おいしいおいしい1・2・3	1,200	
10-5	小峰書店	F04	東京パノラマたんけん	1,500	
10-5	小峰書店	001	リサイクル工作ずかん	1,200	
10-8	合同出版	A01	子どもとマスターする49の生活技術 イラスト版手のしごと	1,942	
10-8	合同出版	A02	子どもとマスターする45の操体法 改訂新版イラスト版からだのつかい方ととのえ方	1,700	
10-8	合同出版	A03	運動が得意になる43の基本レッスン イラスト版体育のコツ	1,600	新規
10-8	合同出版	B01	絵でわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん	1,400	
10-8	合同出版	B03	絵でわかるこどものせいかつずかん3 おでかけのきほん	1,400	
10-8	合同出版	B04	絵でわかるこどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん	1,400	
10-9	こばと	B01	中級編ジャンプアップ とけい・おかね・カレンダー	1,800	
10-10	コクヨ	A01	かおノート	1,000	新規
11-1	さえら	C01	たのしい工作教室 たのしいこうさくきょうしつ1	1,300	
11-1	さえら	C08	たのしい工作教室 木のぞうけい教室	1,262	
11-1	さえら	D07	母と子の手づくり教室 母と子の園芸教室野菜をつくろう	1,330	
11-4	三省堂	A04	三省堂こどもかずの絵じてん	1,400	
11-4	三省堂	A07	こどもきせつのぎょうじ絵じてん第2版小型版	2,000	新規
11-4	三省堂	C01	親子でうたう英語うたの絵じてん	1,700	

発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	単価(円)	備考
12-2	小学館	B02	21世紀幼稚園百科2 とけいとじかん	970	
12-2	小学館	B06	21世紀幼稚園百科6 かずあそび1・2・3	970	
12-2	小学館	B11	21世紀幼稚園百科11 からだのふしぎ	970	
12-2	小学館	C01	ドラえもんちずかん1 にっぽんちず	1,500	
12-2	小学館	C02	ドラえもんちずかん2 せかいちず	1,500	
12-2	小学館	N01	あーとぶっく ひらめき美術館第1館	1,750	
12-2	小学館	N02	あーとぶっく ひらめき美術館第2館	1,750	
12-2	小学館	Z01	デコボコえほん かずをかぞえよう!	1,200	
12-7	女子栄養大	001	新・こどもクッキング	1,600	
12-8	ジュラ	001	ブータンいまなんじ?	1,500	
12-8	ジュラ	002	びんきいしろつぶちゃんのらくがきえほん あそぼ!	1,500	
12-8	ジュラ	004	ブータんどこいくの?	1,500	
12-8	ジュラ	005	かいてけてまたかける あいうえお	1,500	
12-10	視覚デザイン	A01	ハートアートシリーズ 色のえほん	1,400	
13-2	鈴木出版	A05	知育えほん マークのずかん	1,600	
14-3	育成会	A04	自立生活ハンドブック4 からだ!!げんき!?	800	
14-3	育成会	A05	自立生活ハンドブック5 ほなべていどうぞめしががれ	800	
14-3	育成会	A08	自立生活ハンドブック8 食(しょく)	900	
14-4	成美堂出版	002	DVDでひける! はじめてのピアノえほん2 たのしいピアノのうた	1,300	
14-4	成美堂出版	003	いちばんわかりやすい 小学生のための学習世界地図帳	1,200	
14-4	成美堂出版	004	いちばんわかりやすい 小学生のための学習日本地図帳	1,200	
14-4	成美堂出版	005	CDつき楽しく歌える英語のうた	1,400	
14-4	成美堂出版	006	作ってみよう! リサイクル工作68	900	
14-4	成美堂出版	007	CDつき小学生の英語レッスン 絵でみて学ぼう英会話	1,300	
14-5	世界文化社	A01	写真でわかるなぜなに1 どうぶつ	1,165	
15-3	草思社	001	みんなのためのルールブック あたりまえだけど、とても大切なこと	952	
16-3	大日本絵画	A01	メロディーえほん ICピアノえほん四季のどうようー12カ月	2,000	
16-4	太郎次郎社	A01	漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク1基本漢字あそび	1,155	
16-4	太郎次郎社	A02	漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク2あわせ漢字あそび	1,155	
16-4	太郎次郎社	A03	漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク3部首あそび	1,155	
16-4	太郎次郎社	C03	子どもがしあげる手づくり絵本 あいうえおあそび上ひらがな50音	1,845	
17-1	チャイルド	001	ぬったりかいたりらくがきBOOK	1,500	
20-1	童心社	A01	かずのほん1 どっちがたくん	1,300	
20-1	童心社	A02	かずのほん2 0から10まで	1,300	
20-1	童心社	A03	かずのほん3 0から10までのたしざんひきざん	1,300	
20-1	童心社	E02	かこさとしからだの本2 たべものたび	1,300	
20-1	童心社	H01	14ひきのシリーズ 14ひきのあさごほん	1,200	
20-1	童心社	H02	14ひきのシリーズ 14ひきのびくにっく	1,200	
20-1	童心社	L01	ピーマン村の絵本たち さつまのおいも	1,300	
20-1	童心社	L02	ピーマン村の絵本たち おおきくなるっていうことは	1,300	
20-1	童心社	L06	ピーマン村の絵本たち よーいどん!	1,300	
20-2	ドレミ楽譜	001	やさしい こどものうたとあそび	1,400	新規
20-2	ドレミ楽譜	002	保育名歌 こどものうた100選	1,400	
20-3	東京書店	001	やさしくおれるたのしいおりがみ	1,300	
20-4	戸田デザイン	001	和英えほん	1,300	
20-4	戸田デザイン	002	1から100までのえほん	1,600	
20-4	戸田デザイン	003	あいうえおえほん	1,800	
20-4	戸田デザイン	004	ABCえほん	1,700	
20-4	戸田デザイン	005	にっぽんちず絵本	1,800	
20-4	戸田デザイン	006	せかいちず絵本	1,800	
20-4	戸田デザイン	007	よみかた絵本	1,800	
20-4	戸田デザイン	008	6つの色	1,100	
20-4	戸田デザイン	009	とけいのえほん	1,500	
20-4	戸田デザイン	010	昆虫とあそぼう	1,300	
20-5	同成社	A01	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1(改訂版)(ひらがなのことば・文・文章の読み)	1,300	

発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	単価(円)	備考
20-5	同成社	A02	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2(改訂版) (かたかな・かん字の読み書き)	1,100	
20-5	同成社	A03	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3(改訂版) (文章を読む、作文・詩を書く)	900	
20-5	同成社	A04	ゆっくり学ぶ子のための 国語4	1,100	
20-5	同成社	B01	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編1(改訂版) (表象形成・音韻形成・発声・発音)	1,100	
20-5	同成社	B02	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編2(改訂版) (ひらがなの読み書き)	1,100	
20-5	同成社	C01	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」1 (量概念の基礎、比較、なかま集め)	1,100	
20-5	同成社	C02	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2 (1対1対応、1～5の数、5までのたし算)	1,100	
20-5	同成社	C03	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3 (6～9のたし算、ひき算、位取り)	1,100	
20-5	同成社	C04	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4 (くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算)	1,100	
20-5	同成社	C05	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5 (3けたの数の計算、かけ算、わり算)	1,100	
20-7	東洋館	001	くらしに役立つ社会	1,300	
20-7	東洋館	002	くらしに役立つ国語	1,300	
20-7	東洋館	003	くらしに役立つ数学	1,300	
20-7	東洋館	004	くらしに役立つ理科	1,300	
20-7	東洋館	005	くらしに役立つ保健体育	1,300	
20-7	東洋館	006	くらしに役立つ家庭	1,300	
21-1	永岡書店	007	お手本のうた付き! どうようたのえほん	1,600	
21-1	永岡書店	009	お手本のうた付き! どうようたのえほん2	1,600	
21-2	ナツメ社	001	子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん	1,800	
22-3	日本教育研	A01	ひとりだちするための国語	1,700	
22-3	日本教育研	A02	ひとりだちするための算数・数学	1,600	
25-1	のら書店	001	はじめてのこうさくあそび	1,500	
27-1	ひかりのく	001	たのしいあそびうたえほん	1,280	
27-1	ひかりのく	002	どうようでおえかきできる どうようNEW絵かきうたブック	1,800	
27-1	ひかりのく	003	マナーやルールがどどんわかる! 新装改訂版みちかなマーク	1,200	
27-1	ひかりのく	012	手あそび指あそび歌あそびブック1	1,800	
27-1	ひかりのく	013	あそびうたのほんCDつき	1,200	
27-1	ひかりのく	B05	認識絵本5 いくつかな	1,200	
27-1	ひかりのく	B10	認識絵本10 おおきいちいさい	1,300	
27-1	ひかりのく	C09	こどものずかんMio9 ひとのからだ	762	
27-1	ひかりのく	C10	こどものずかんMio10 たべもの	762	
27-1	ひかりのく	C12	こどものずかんMio12 きせつとしぜん	762	
27-1	ひかりのく	D01	202シリーズ たべもの202	1,200	
27-1	ひかりのく	F01	改訂新版どうようえほん1	1,000	
27-1	ひかりのく	F02	改訂新版どうようえほん2	1,000	
27-1	ひかりのく	F03	改訂新版どうようえほん3	1,000	
27-1	ひかりのく	I01	改訂新版体験を広げるこどものずかん1 どうぶつえん	1,000	
27-1	ひかりのく	I04	改訂新版体験を広げるこどものずかん4 はなとやさしいくだもの	1,000	
27-1	ひかりのく	I08	改訂新版体験を広げるこどものずかん8 あそびのずかん	1,000	
27-1	ひかりのく	I09	改訂新版体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう	1,000	
27-1	ひかりのく	J04	はじめてのずかん4 やさいとくだもの	800	
27-1	ひかりのく	K09	新装版KIDS2112 たべものひやつか	850	
27-2	評論社	A01	スカーリーおじさんの はたらく人たち	1,700	
27-2	評論社	B01	しかけ絵本の本棚 コロちゃんはどこ?	1,200	
27-2	評論社	B25	しかけ絵本の本棚 からだのなかとそと	2,000	
27-2	評論社	C01	ピーター・スピアーの絵本1 せかいのひとびと	1,500	
27-3	ひさかた	A01	あかちゃんのための絵本 はみがきしゅわしゅわ	800	
27-3	ひさかた	B01	ミーミとクークのえほん ミーミとクークのあか・あお・きいろ	1,000	
27-3	ひさかた	B02	ミーミとクークのえほん ミーミとクークの1・2・3	800	
27-3	ひさかた	C04	スキンシップ絵本 かたかなアイウエオ	1,600	
27-3	ひさかた	C05	スキンシップ絵本 かずのえほん	1,600	
27-3	ひさかた	D01	でんしゃでいこうでんしゃでかえろう	1,200	
27-3	ひさかた	D02	どうぞのいす	1,000	
27-4	PHP	001	子どもの字がうまくなる練習ノート	1,200	
28-1	福音館	A01	ブルーナの絵本 まる、しかく、さんかく	700	新規

発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	単価(円)	備考
28-1	福音館	B06	幼児絵本シリーズ くだもの	900	
28-1	福音館	B08	幼児絵本シリーズ やさい	900	
28-1	福音館	B09	幼児絵本シリーズ やさいのおなか	1,000	
28-1	福音館	E02	かがくのとも絵本 たべられるしよぶつ	900	
28-1	福音館	E13	かがくのとも絵本 きゆうきゆうばこ新版	900	
28-1	福音館	E14	かがくのとも絵本 しんぶんしでつくろう	900	
28-1	福音館	E15	かがくのとも絵本 かみであそぼうきる・おる	900	
28-1	福音館	E16	かがくのとも絵本 みんなうんち	900	
28-1	福音館	E18	かがくのとも絵本 かみコップでつくろう	900	
28-1	福音館	E19	かがくのとも絵本 平野レミのおりようりブック	900	
28-1	福音館	E20	かがくのとも絵本 しゃぼんだまとあそぼう	900	
28-1	福音館	G01	福音館の科学シリーズ 昆虫	1,500	
28-1	福音館	G03	福音館の科学シリーズ 地球	1,500	
28-1	福音館	G04	福音館の科学シリーズ 道ばたの四季	1,500	
28-1	福音館	G05	福音館の科学シリーズ ぼらの地図旅行	1,900	
28-1	福音館	G08	福音館の科学シリーズ どうぶつえんガイド	1,600	
28-1	福音館	G09	福音館の科学シリーズ あそびのレシピ	1,600	
28-1	福音館	G10	福音館の科学シリーズ ただいまお仕事中	1,500	
28-1	福音館	H13	こどものとも絵本 ぞうくんのさんぼ	900	
28-1	福音館	H21	ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐら	900	
28-1	福音館	H25	こどものとも絵本 そいろいろのたね	900	
28-1	福音館	H26	こどものとも絵本 おおきなかぶ	900	
28-1	福音館	H56	こどものとも絵本 はじめてのおつかい	900	
28-1	福音館	I01	安野光雅の絵本 はじめてであうすうがくの絵本1	1,600	
28-1	福音館	J01	世界傑作絵本シリーズ てぶくろ	1,000	
28-1	福音館	J02	世界傑作絵本シリーズ プレーメンのおんがくたい	1,400	
28-1	福音館	J03	世界傑作絵本シリーズ ミツキのやぎのがらがらどん	1,200	
28-1	福音館	K01	日本傑作絵本シリーズ おふろだいすき	1,300	
28-1	福音館	K02	日本傑作絵本シリーズ みんなであそぶわらべうた	1,300	
28-1	福音館	K03	日本傑作絵本シリーズ ドオン!	1,100	
28-1	福音館	K04	ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐらの1ねんかん	1,300	
28-1	福音館	L01	みぢかなかがくシリーズ 町の水族館・町の植物園	1,300	
28-1	福音館	M06	みぢかなかがくシリーズ 町たんけん	1,200	
28-1	福音館	N01	Do! 図鑑シリーズ 工作図鑑	1,600	
28-2	婦人之友	A01	よくみるよくきくよくする絵本 たべものことからだ	900	
28-2	婦人之友	001	こどもがつくるたのしいお料理	981	
28-3	ブロンズ新	A02	らくがきえほんあ・い・う・え・お	950	
28-3	ブロンズ新	C01	しごとば	1,700	
28-4	文化出版局	E07	どうぶつあれあれえほん第4集 かくしたのだあれ	600	
28-6	文研出版	A16	ジョイフルえほん傑作集 りんごがドスーン	1,100	
28-6	文研出版	B05	みるみる絵本 もこもこもこ	1,300	
28-7	福村出版	A01	シリーズ生活を学ぶ1 つくって食べよう	2,000	
28-7	福村出版	A05	シリーズ生活を学ぶ5 遠くへ行きたいな	2,000	
28-7	福村出版	A06	シリーズ生活を学ぶ6 わたしたちのからだ	2,000	
28-8	フレーベル	D02	ふしぎをためすかがく図鑑 しよぶつをさいばい	2,000	
28-8	フレーベル	D03	ふしぎをためすかがく図鑑 かがくあそび	2,000	
28-8	フレーベル	D04	ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび	2,000	
28-8	フレーベル	G09	フレーベル館の図鑑ナチュラ ひとのからだ	1,900	
28-8	フレーベル	G12	フレーベル館の図鑑ナチュラ はるなつあきふゆ	1,900	
28-8	フレーベル	H01	フレーベル館の図鑑ナチュラ ふしぎをためす図鑑(1)かがくあそび	1,900	新規
28-8	フレーベル	002	たいせつなこと	1,200	新規
29-1	平凡社	B02	新版はじめましてにほんちず	1,600	
30-2	ポプラ	A01	あそびのひろば1 はんがあそび	1,200	
30-2	ポプラ	A02	あそびのひろば2 やさしいてづくりのプレゼント	1,200	
30-2	ポプラ	A04	あそびのひろば4 はりえあそび	1,200	

発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	単価(円)	備考
30-2	ポブラ	A08	あそびのひろば8 らくがきあそび	1,200	
30-2	ポブラ	C03	ペーパーランド3 とびだすカード	1,200	
30-2	ポブラ	C08	ペーパーランド8 おりがみえあそび	1,200	
30-2	ポブラ	D05	ねずみくんの絵本1 ねずみくんのチョコキ	1,000	
30-2	ポブラ	J01	クーとマーのおぼえるえほん1 ほくのいろなあに	880	
30-2	ポブラ	N02	絵本・いつでもいっしょ2 どうぶつなんびき?	1,100	
30-2	ポブラ	O07	おととあそぼうシリーズ7 ドン!ドコ!ドン!たいこ	1,580	
30-2	ポブラ	P04	音のでる知育絵本4 こえでおぼえるあいうえおのほん	1,850	
30-2	ポブラ	P15	音のでる知育絵本15 こえでおぼえるごあいさつえほん	1,300	
30-2	ポブラ	P16	音のでる知育絵本16 とけいがよめるようになる!!とけいくん	1,800	
30-2	ポブラ	001	いろいろいろのほん	1,300	
32-1	民衆社	A02	さんすうだいすきあそぶ・つくる・しらべる2年	1,800	
33-1	むぎ書房	A02	わかるさんすう2	900	
36-1	山と溪谷社	001	家庭科の教科書小学校低学年～高学年用	1,800	
40-1	理論社	A01	あいうえおうさま	1,000	今後、1,200円に改定予定
40-3	リーブル	001	あっちゃんあがつくたべものあいうえお	1,800	
40-3	リーブル	002	しりとりにまじよ!たべものあいうえお	1,800	

「令和3年度用一般図書一覧」に新たに掲載する発行者・図書一覧

R2発行者コード	発行者略称	R2図書コード	図 書 名	単価 (円)	R3発行者コード	R3図書コード	備考
06-1	借成社	590	木村裕一・しかけ絵本(12) げんきにごあいさつ	1,200	06-1	W12	新規
08-1	くもん出版	538	CD付き英語カードあいさつと話しことば編	1,500	08-1	H02	新規
10-8	合同出版	515	運動が得意になる43の基本レッスン イラスト版体育のコツ	1,600	10-8	A03	新規
11-4	三省堂	539	こどもきせつのぎょうじ絵じてん第2版小型版	2,000	11-4	A07	新規
20-2	ドレミ楽譜	541	やさしい こどものうたとあそび	1,400	20-2	001	新規
28-1	福音館	501	ブルーナの絵本 まる、しかく、さんかく	700	28-1	A01	新規
28-8	フレーベル	516	フレーベル館の図鑑ナチュラ ふしぎをためす図鑑(1)かがくあそび	1,900	28-8	H01	新規
28-8	フレーベル	565	たいせつなこと	1,200	28-8	002	新規
57-1	教育画劇	511	つくってたべよう!お料理マジック2	1,500	07-5	A02	新規
60-35	コクヨ	502	かおノート	1,000	10-10	A01	新規

「令和2年度用一般図書一覧」に掲載のうち令和3年度用では削除する発行者・図書一覧

R2発行者コード	発行者略称	R2図書コード	図 書 名	単価 (円)	R3発行者コード	発行予定
06-2	学研	H01	キッズ・えほんシリーズ 日本がわかるちずのえほん改訂版	1,500	06-2	×
06-2	学研	002	小学生向辞典・事典 レインボーことば絵じてん	1,460	06-2	×
10-5	小峰書店	E19	のりものえほん(しゃしん・ずかん) あたらしい関西のでんしゃずかん	980	10-5	×
11-1	さえら	D01	母と子の手づくり教室 糸と布のたのしい手づくり教室	1,400	11-1	○
28-8	フレーベル	B05	アンパンマンのおはなしでてこい5 アンパンマンとはみがきやま	830	28-8	×
28-8	フレーベル	001	ことばでひらく絵のせかい はじめてであう美術館	2,000	28-8	×
30-2	ポブラ	M01	うたってかいてけせるえほん1 音のでるえかきうた	1,880	30-2	×
30-2	ポブラ	031	おととあそぼうシリーズ31 おてほんのうたがながれるてあそびうたえほん	1,780	30-2	×
30-2	ポブラ	033	おととあそぼうシリーズ33 新装版おてほんのうたがながれるどうようえほん	1,780	30-2	×
30-2	ポブラ	P07	音のでる知育絵本7 こえでおぼえる123かずのほん	2,000	30-2	×

令和2年3月末現在において絶版、在庫不足等の理由により供給不能となっている図書一覧

「小学校特別支援学級教科用図書選定に必要な資料(2019年度作成)」に掲載されている一般図書で、令和2年3月末現在において絶版、在庫不足等の理由により供給不能となっている一般図書は下記のとおりである。

記

「小学校特別支援学級教科用図書選定に必要な資料(2019年度作成)」

資料区分	発行者	図 書 名	理 由
小学校 家庭	偕成社	はじめての手芸シリーズ1 へんしん糸・ひも・布	供給不可